

官報

號外

明治三十六年五月十七日

日曜日

印刷局

第十八回 衆議院議事速記録第二號

明治三十六年五月十六日(土曜日)午後一時五十分開議

議事日程 第二號 明治三十六年五月十六日

午後一時開議

第一 地租條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 府縣制市制及町村制中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 軍艦水雷艇補充基金組入ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第九 明治二十七年法律第十號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十一 度量衡法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十三 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十五 日本興業銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十七 明治三十六年勅令第八號(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十九 災害地租免除ニ關スル法律案(木村半兵衛外九名提出) 第一讀會

○副議長(杉田定一君) 議長が不快ヲゴザイマスカラ、引續キテ代理ヲ致シマス、是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

豫算委員長 栗原 亮一君 同理事 伊藤 德太郎君

同理事 松田 吉三郎君 同理事 櫻井 駿君

決算委員長 元田 肇君 同理事 澤田 佐助君

同理事 改野 耕三君 同理事 渡邊 鼎君

懲罰委員長 奥 繁三郎君 同理事 武滿 義雄君

同理事 内藤 守三君
請願委員長 武石 敬治君 同理事 澤田 寧君
同理事 木下 學而君 同理事 高橋 庄之助君
同理事 平井 由太郎君 同理事 草鹿 甲子太郎君
政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

地租條例中改正法律案
府縣制市制及町村制中改正法律案
軍艦水雷艇補充基金組入ニ關スル法律案
鐵道敷設法中改正法律案

明治二十七年法律第十號中改正法律案
度量衡法中改正法律案
臺灣事業公債法中改正法律案
日本興業銀行法中改正法律案

明治三十六年勅令第八號(承諾ヲ求ムル件)
明治三十六年度歲入歳出總豫算追加案
第二號明治三十六年度歲入歳出總豫算追加案

第三號明治三十六年度歲入歳出總豫算追加案
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
明治三十六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(特第二號)明治三十六年度特別會計歳入歳出豫算追加案
(特第三號)明治三十六年度特別會計歳入歳出豫算追加案
議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
災害地租免除ニ關スル法律案

提出者 矢 島 中君 濱名 信平君 濱野 昇君
室原 重福君 菅原 傳君 日向 輝武君
上 埜 安太郎君 戸狩 權之助君 鵜飼 節郎君
武石 敬治君 松田 吉三郎君
井上甚太郎君外一名ヨリ鑛毒ニ關シ根本正君戸狩權之助君平田力之助君ヨリ
教育及行政ニ關スル質問趣意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)
鑛毒ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也

明治三十六年五月十四日
提出者 井上 甚太郎 高橋 庄之助
贊成者 元田 肇
外三十四名

一 鑛毒ニ關スル質問趣意書
政府カ昨年二月十五日勅令第四十五號官制ニヨリ設置セラレタル鑛毒調査委員會ハ足尾、別子等ノ如キ或ル限ラレタル鑛山ノ鑛毒調査ヲ目的トセラレタルモノナルヤ將タ全國鑛山中苟モ此問題ニ關係アル總テノ鑛山ニ對シ其調査ヲ爲サシメントノ趣旨ナリヤ

二 調査委員會ノ目的前項前段ニ在リトセハ其調査ヲ特示セラレタル鑛山ハ何處何處ナリヤ若シ又後段ニアリトセハ今日迄調査委員會ガ已ニ調査セラレタル鑛山ハ何處何處ナリヤ

三 鑛毒調査委員會ニ於テ已ニ調査結了シタルモノアリヤ若シアリトセハ其結果ヲ明示セラレタシ

四 委員會調査ノ結果從來政府ガ足尾鑛山ニ向テ命セラレタル豫防設備ニ對シ變更改善ヲ要スルノ事實ヲ發見セラレタリヤ若シ發見セラレタリトセハ其廉々ヲ明示セラレタシ

五 政府ハ足尾銅山鑛毒問題ノ解決上及其他ノ關係ヨリ見テ渡良瀬川治水工事ノ必要ヲ認メサルカ若シ其必要ヲ認メタリトセハ如何ナル設計方針如何ナル財源ニヨリテ何時ヨリ著手セントスル見込ナリヤ

六 政府ハ伊豫ノ國別子銅山ニ於テ現在施設シツアル所ノ除害設備ヲ以テ十分其目的ヲ達シ得ルモノト認ムルカ

七 政府ハ曩ニ別子銅山新居濱製煉所ヲ明治三十五年十二月迄ニ四阪島ニ移轉スヘキコトヲ嚴命シ置キナカラ何故ニ一昨年七月中鑛業人ノ希望ヲ容レ明治三十七年十二月迄二箇年間其移轉ノ延期ヲ許シタルヤ

八 政府ハ陸中國小阪鑛山ノ鑛煙及坑水ノ害ヲ認メサルカ何故ニ之カ除害ノ設備ヲ命セサルカ
教育及行政ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也
明治三十六年五月十六日
提出者 根本 正 戸狩權之助 平田力之助
贊成者 大久保 鐵作 外四十三名

第一 教育及行政ニ關スル質問
政府ガ第十六議會ニ於テ爲シタル學制調査ノ公約ハ何レノ程度マデ進ミシヤ

第二 政府ハ公立學校ニ於ケル國民教育ノ統一ヲ圖ラス且ツ濫リニ私立學校ヲ排斥スルノ方針アルハ國民教育ノ失敗ニアラスヤ

第三 官撰教科書ハ國運ノ進歩ヲ害セサルヤ
第四 政府ハ中央電信電話ノ既ニ設備セラレタル地方ニ於テ更ニ同區内ヘ地方費ヲ以テ警察電線ヲ設ケ行政費ヲ重複濫用セシムルハ交通機關ノ統一ヲ缺キタルモノニアラスヤ

第五 政府ハ交通機關ノ發達セル今日ニ於テ何故ニ地方行政區畫ヲ改メテ地方費ヲ節減スルノ方針ヲ取ラサルヤ

右質問ニ對シ政府ハ速ニ明答アラムコトヲ望ム
○副議長(杉田定一君) 昨日當選證書ノ對照ヲ經マシタ議員ノ御方ヲ、書記官長ヨリ報告シマス
(林田書記官長朗讀)

香川縣郡部選出議員宮井茂九郎君
○副議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諸君ニ御諮リ申スコトガアリマスガ、鈴置倉次郎君ハ病氣ノタメニ、豫算委員ノ辭職ヲ申出ラレマシテゴザイマス、是ハ御許シニナリマスカ、如何デゴザイマス

○久保伊一郎君(二百八十三番) 議院規則ニ依リマスルト、常任委員ハ正當ノ理由ナクシテ辭スルコトガ出來ヌトナツテ居リマス(「病氣々々」ト呼フ者アリ)テ其辭退ヲ致シマシタ理由ヲ仄カニ聞ク所ニ依リマスレバ、病氣デアルト云フコトデアリマスルガ本人ハ既ニ本日ノ會ニ於テモ列席シテ居ラレマス、決シテ病氣デナイノデス、病氣デナイモノヲ病氣デアル、斯ウ云フ理由ヲ以テ辭スコトヲ許セバ、所謂衆議院規則ニ於テ規定セラレタ、正當ナル理由ガ何レニアアルカト云フコトヲ、大變了解ニ苦シムコトニナツテ來ル、私ハ決シテ是ハ辭職ヲ許スベカラズト云フコトニ院議ヲ決定致シタイト云フ考デアリマス

○副議長(杉田定一君) 反對ガゴザイマス以上ハ、決議ニ問ヒマス——辭職ヲ許スト云フコトニ御同意ノ御方ハ起立ヲ請ヒマス
(「ノウウ」ト呼フ者アリ)

○副議長(杉田定一君) 今ノ議論ニ贊成ハナイト呼フ者アリ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ) 今ノ議論ニ贊成ハナイト呼フ者アリ

○副議長(杉田定一君) 異議ナシト云フコトガ多數ト認メマスデ、許可スルコトニ致シマス、就テハ七部ニ於テ本日散會後、豫算委員ノ補闕選舉ヲナサルヤウニ希望シマス——桂内閣總理大臣

(内閣總理大臣伯爵桂太郎君登壇)
○内閣總理大臣(伯爵桂太郎君) 諸君、本大臣ハ新タニ當選ノ榮ヲ荷ハレ、當議場ニ列セラレマシタ所ノ諸君ト茲ニ相見エマシテ、政府ノ所見ニ付キ一言スルノ機會ヲ得マシタノヲ光榮ト存ジマス、諸君、政府ハ曩ニ明治三十六年度豫算ヲ編成スルニ當リマシテ、宇内ノ大勢ニ鑑ミ、世界ノ進運ニ徴シ、帝國財政ノ許ス範圍ニ於キマシテ、國防ノ充實ト民力ノ發展ニ必要ナル計畫ヲ定メ、議會ノ協贊ヲ求メマシタ、然ルニ議會ハ不幸ニシテ解散ニ終リマシテ、二十六年度ニ於テハ、前年度豫算ヲ施行スルコト、ナリマシタカラ、政府ハ國家ノ進運ニ大ナル妨害ナキ限リ、カメテ節約ノ方針ヲ採リ、前年度豫算中ニ於キマシテ、節約スベキモノハ節約ヲ致シマシタガ、事ノ既定ノ計畫ニ屬シ、若クハ法律ノ結果ニ基ク等ノタメ、到底經費増加ノ避ケベカラザルモノ、及國家ノ進運上、一日モ緩ウスルコトノ出來マセヌ事業ニ於キマシテハ、更ニ之ヲ要求スルノ已ムヲ得ザルニ至リマシタ、故ニ政府ハ事局ノ趨勢ニ徴シ、緊切急要ナリト信ジマス追加豫算其他ノ諸

(11)

案ヲ、本議會ニ提出致シマシタ次第アリマス、今回提出ノ諸案中ニハ、國防ノ充實、交通機關ノ整備、臺灣特別經營等ノ如キガ、其主要ナルモノデアリマシテ、既ニ前議會ニ於キマシテ、政府ノ計畫ヲ明示致シマシタモノデアリマス、其内容ニ付キマシテハ、諸君モ大要御承知ノコト、存シマスガ、此等ノ計畫ハ、一ニ帝國ノ國是ニ從ヒ、事務局ノ大勢ニ鑑ミ、國家ノ大計ヲ遂行セントスルモノデアリマシテ、一日モ忽諸ニ付スベカラザルモノデアリマス、諸君ノ諒知セラル、所デアルト存シマス、今ヤ舉國一致、國家ノ進運ヲ扶植スルニ急ナルノ秋ニ方リマシテ、帝國ノ利權ヲ護持スルニ必要ナル施設ニ對シ、諸君ガ慎重公平ニ審議ヲ盡サレ、協賛ヲ與ヘラレシコトハ、本大臣ノ切ニ希望スル所デアリマス

○工藤行幹君(二百五十九番) 議長——議長

○副議長(杉田定一君) 大藏大臣ニ先キニ發言ヲ許シテゴザイマス

○工藤行幹君(二百五十九番) 私ハ總理大臣ニ少シ質問ガアリマスカラ、願クハ大藏大臣ノ演說ノ終ヲアトテ、御許シテ請ヒマス

○副議長(杉田定一君) 大藏大臣ノ演說ガ濟ミマシテカラ……

(大藏大臣男爵曾禰荒助君登壇)

○大藏大臣(男爵曾禰荒助君) 諸君、私ハ茲ニ明治三十六年度總豫算ノ追加豫算ヲ提出シテ、諸君ニ御紹介スルノハ、誠ニ光榮トスル所デアリマス、既ニ其豫算案ハ皆サンノ御手許ニ廻リ居リマス、コトデアリマスカラ、詳細ノコトヲ説明スルノ煩ヲ避ケマシテ、其大體ヲクテ此所ニ申上ケヤウト考ヘマス、此豫算ノ總計八千八百餘萬圓デアリマス、而シテ其重モノヲ舉ゲテ見マス、國防上ニ於キマシテハ、海軍ノ造船費ト、竝ニ國防上ノ設備デアリマス、又經濟上カラ申シマス、鐵道ノ改良費竝ニ擴張費、電話第二期ノ擴張費、臺灣事業ノ費用、製鐵所不足ノ創立費、竝ニ聖路易博覽會ニ要スル所ノ費用等デアリマス、アトハ、皆細カイモノデアリマスカラ、又委員會等ニ於キマシテ、御問ニ依ッテ詳シク説明ヲ致スデアリマセウ、是ダケヲ御紹介申上ケテ置キマス

○大竹貫一君(二百六番) 議長……

○副議長(杉田定一君) 工藤君ガ先キニ發言ヲ申込デアリマスカラ、其次ニ工藤君ニ許シマス

○大竹貫一君(二百六番) 本員ハ、桂總理大臣ニ向ヒマシテ、一應ノ説明ヲ請ヒタ

イノデアリマス、其要旨ハ唯今御演說ニナリマシタ所ノ、本會議ニ對スル所ノ意見ハ、能ク拜承致シマシタ、其事柄タルヤ、昨年ノ議會ニ演說サレタモノト同一ノコトデアリマシテ、即チ國防充實、國運ノ發展ニ伴フ所ノ諸般ノ計畫ニ付イテ云云ト云フコトノ御演說デアリマシタガ、竊ニ想ヒマス、昨年ノ議會ニ衝突シタ問題ヲ、再ヒ此所ニ繰返ス所ノ會議デアリマス、此繰返ス所ノ會議ニ向ヒマシテ、殆ド活版摺同様ノ口調ヲ以テ、本會ニ示サレタル所ニ依リマス、少シモ前途ニ就イテ望ミナイト云フコトモ分リ切ツタ話デアリマス、又今日ノ議事日程第一ニ上ツテ居ル地租條例ニ付イテ見マシテモ、疑ヒガ大ニアルデアリマス、ナゼカナレバ、唯今ノ演說中ニ、國防充實、即チ海軍第三期擴張ト云フコトハ、實ニ大切ナル問題デアリマシテ、是ニ伴フ歳入即チ政府ノ認メタ

ル所ノ歳入即チ地租條例デアル、此條例ハ昨年ノ議會ニ於キマシテハ、千分ノ三十三ト云フコトデアルノデアリマス、然ルニ當年ノ地租條例ヲ見マスレバ、是ガ地價百分ノ三ト云フコトニ減額サレテ提出サレマシタ、又昨年ノ議會ニ演說サレタ所ノ國防充實ハ、即チ地租ノ千分ノ三十三ナラデハ、到底他ニ適當ナル所ノ財源ガ見出サレヌ、ト斯ク斷言サレタデアリマス、然ルニ本年ノ此會議ニ於キマシテハ、俄然千分ノ三十三トアルニ減額サレマシテ、百分ノ三即チ千分ノ三ト云フモノヲ減ラサレタト云フコトハ、ドウ云フ趣旨デアリマセウカ、地租ナケレバ此國防充實ニ充テル海軍擴張ノ稅源ハナイト云フコトヲ斷言サレナガラ、此三ノ差ヒタルヤ、想フニ一箇年ニ於テハ四百三十四萬ノ差デアラウト思ヒマスガ、此國防充實ヲ全タカラシムルタメニハ、十一箇年掛リマスカラ、一年四百三十四萬ノ金トシテハ、少ナウゴザイマセウカ、十一箇年積メバ四千七百八百萬圓ト云フモノニナリマス、此四千七百八百萬圓即チ五千萬圓足ラズノ歳入ハ、何ヲ以テ填補サルヤ考デアリマス、我輩ガ最モ聽カントスル所ハ、此箇條デアリマス、此說明ヲ得マシタ後、尙進シテ説明ヲ請ヒタイノデアリマスカラ、先ツ以テ此地租條例ニ依リ、三分三厘ヲナケレバ始末ガ附カヌト云ウタメニ、責任ヲ負ウテ國會マデヲ賭シタ所ノモノヲ、俄然變シマシテ、今ノ如ク歳入ハ減額ヲ生ズルト云フ政府ノ方針ハ何デアリマセウカ、又其歳入ハ何ニ依ッテ填補サル、考デアリマセウカ、説明ヲ請ヒタイノデアリマス

(大藏大臣男爵曾禰荒助君登壇)

○大藏大臣(男爵曾禰荒助君) 唯今大竹君カラノ御問ヒデアリマス、總理大臣ニ御問ヒト云フコトデアリマシタガ、大藏大臣ガ一番其衝ニ當テ居ルモノデアリマスカラ代リマシテ御答ヲ申シマス、唯今仰セノ如ク、其差ハ何レヨリ出スカト云フコトヲ、明了ニ御答ヲ申シマシタラバ、其邊ノコトハ御分リニナル考ヘマス、曾テ昨年ノ議會ニ出シマシタヨリモ、今度ノ分率ガ減ッテ居リマス、三厘——其減ッテ居ル所ノモノハ、斯ウ云フ計算ニナリマス、昨年ノ議會ノコトカラモ、少シ御話申シマシタラ、尙御分リニナラウト思ッテ居リマス、昨年ノ議會ノトキニ稍々相談モ、總リカケテ、到頭總ラヌト云フ所ニナリマシタガ、即チ三分三厘ノ所ハ三分ニシテ、其三厘ノ所ハ一ツハ鐵道費ノ方カラ出シ——一部分ハ鐵道費カラ出シ、一部分ヲ電話ノ擴張費カラ出シ、其アトノ一部分ハ一般ノ行政費ヲ減少シマシテ出ス、斯ウ云フ御相談ヲ致シマシタコトガゴザイマス、其事業ハ隨分困難デアリマスケレドモ、ソレダケノコトヲシテ御相談ヲシタコトガゴザイマス、今回ハ即チ其時御相談ヲ致シタ所ノモノヲ減シマシテ、ソレダケノモノハ、唯今申上ゲル所ノ費用カラ所謂補足シマシテ、用ヲ辨ズルト云フコトニナリマスカラ三分下ツタ譯デアリマス、是ダケテ大抵御分リニナリマセウト思ヒマス

(此時發言ヲ求ムル者多シ)

○大竹貫一君(二百六番) 前回ノ續デアリマスカラ、御許ヲ願ヒマス

○副議長(杉田定一君) 大竹君

○大竹貫一君(二百六番) 唯今曾禰大藏大臣ノ説明ガアリマシタケレドモ、私ニハドウモ合點ガ出來ヌデアリマスカラシテ、今一應ノ説明ヲ請ヒタイノデアリマス、唯今ノ御答辯ニ依リマスレバ、昨年或人ヤト妥協トヤラ申スコトノ御話ヲ持出サレマシテ、鐵道及電話等ノ事業ヲ繰延ベ、其不足ノモノハ、行政整理ヨリ得タルモノヲ以テ、之ヲ填補

スルト云フコトアリマス、併ナガラ思ヒマスルニ、行政ノ整理ト申シマシタ所ガ、マダ今ノ有様ゴザイマスレバ、到底吾等ハ當局ノ者ニ望ミ得ベカラザルモノト信ジマス、果シテ今ノ當局者ガ責任ヲ負ヒマシテス、又昨年或者ノ妥協トヤラノ節ニ申シマシタ如ク、今申上テマスル行政ノ整理及鐵道電話ダケノ費用ヲ以テマシテ、是ニ當籍メルト云フコト

デ、斷言サル、コトデアリマスルガ、私ハ仄カニ聞キマスル所ガ、公債支辨ノ案ヲ政府ニ保持シテアルヤウニ聞イタ、デアリマスル、今後如何ナルコトデアリマシテモ、公債支辨ノ案ヲ此議會ニ提出サレヌト云フコトヲ、此議會ニ斷言サル、コトデアリマセウカ、一應確メ置キタイノデアリマス、然ラバ此財源ナルモノハ、今ノ大藏大臣ノ答辯ノ如ク、鐵道電話ノ繰延及行政整理ニ依テ、必ズ支辨スルコトデアリマスガ、併ナガラ行政整理ハ、年々歳々實行シマシテモ、本年モ鐵道繰延、明年モ電話ノ繰延ト申シマシタナラバ、國運ノ發展ニドウナリマセウカ、到底是ダケデハ満足ナル説明トハ思ヒマセヌ、一箇年ト申シマ

スレバ、二十六年、二十七年位ハ、今ノ大藏大臣ノ説明ノ如クニ、無理シテ押切り算段ハ遣ラレマセウカナレドモ、今申シマシタ通、十一箇年ト申シマシレバ、五千万圓足ラズノ金額デアアル、此五千万圓足ラズノ金額ヲ擧ゲテ、今ノ大藏大臣ノ説明ニ依ルコトハ、餘程間違テ居ル御考デハナイカ知ラヌト思ヒマス、サリナガラ斷言テ公債ト云フコトノ案ヲ提出セズニ、今斷言サレタ如クニ、進行サレルコトデアリマスカ否ヤト云フコトヲ、斷言ヲ請ヒタイノデアリマス

○大藏大臣男爵曾禰荒助君登壇 大竹君ニモウ一應御答ヲ致シマス、地租案ガ出シテゴザイマスカラ、地租案テ御話ヲ願ヒタウゴザイマス、公債案ノコトハ何ンニモ係テゴザイマセヌデゴザイマス

○大竹貫一君(二百六番) 唯今大藏大臣ハ答辯ニ窮サレマシタカ、地租條例案ニ就イテ話ヲシタイト云フコトデアリマス、併ナガラ私ハ最前ノ總理大臣及大藏大臣ノ演說ニ就イテ、説明ヲ求メルノデアリマス、即チ一般ノ國是ニ付イテ御考ヲ聞キタイノデアリマス、然ラバ獨リ地租條例ト云ハズ、國防充實ト云ハズ、公債問題ト云ハズ、全部ニ互ル所ノモノヲ、幸ニ大臣ガ出席サレマシタカラ、國家施政ノ方針トシ、御互ガ此議會ニ於テ

攻究スル材料トシテ、聞キ置キタイコトデアリマス、決シテ我輩ハ地租條例中ノ案ト取違ヘタノデアリマセヌ、是ハナゼナレバ、昨年ノ議會ハ即チ地租條例ト云フモノヲ以テマシテ、議會ト政府トノ衝突デ、遂ニ議會ノ解散マデヲ賭シテヤッタコトデアリマスカラ、今日ノ内閣諸公ト云フモノハ、尙斷々乎トシテ、昨年ノ如キ方針ヲ持タル、コトデアリマスカ、其事ガ質問シタイノデアリマス、即チ昨年ノ如キハ總理大臣ノ、十二月十三日ノ演說ト云ヒ、或ハ十七日ノ演說ト云ヒ、國會解散ノ十二月二十八日ノコト、云ヒ、總テノ問題ガ、地租條例ヲ衆議院ガ相容レヌコトハ、斷言シテイカヌト云フコトヲ、屢ニ斷言サレタコトデアアル、又十二月十三日ノ演說筆記ヲ見マシタル、斯ウ云フコトガ書イテアル、國防充實ノ

アトニ「此計畫ノ實行ニ就キマシテハ、勿論現在ノ財源ヲ以テ是ニ應ズルコトハ出來マセヌ、又公債ハ之ヲ内ニ募ルト外ニ募ルトニ拘ハラズ財政策上時期ヲ得タモノデアナイト信ジマス」斯様ニ總理大臣ガ斷言サレタノデアリマス、然ルニ我輩ガ竊ニ聞ク所ニ依リマスト、此始末ハ公債支辨ニ依ルコトヲ聞イテ居リマス、決シテ地租條例ニ付イテ質問スルノデア

リマセヌ、此財政計畫ノ大體ニ就イテ、餘程必要ト信ジマスカラ、果シテ公債支辨ノ案ヲ、議會ニ提出スルカ、セヌカト云フ一言ヲ聽キ得レバ、満足スルノデアリマス

○大藏大臣男爵曾禰荒助君登壇 大竹君ニ御答致シマス、諸種ノ御質問モゴザリマセウカラ、ドウカ書面デスッカリ出シテ下サイ、明瞭ニ御答致シマス

○工藤行幹君(二百五十九番) 私ハ總理大臣ニ向テ説明ヲ求メマス、ソレハ何デアアルカト申シマスレバ、總理大臣ハ或日ニ貴族院議員ノ六團體トカ云フモノヲ招カレテ、是ヘノ御話ニハ、政府ハ多分議會ニ地租案ヲ提出スルケレドモ、併シ強テハ可決シナイ、強テ之ヲ決定シヤウトハ思ハナイ、政府ハ海軍擴張サヘレバ宜シイ、故ニ成ルタケ此上行政ノ整理財政ノ整理ヲナシ、或ハ事業ノ繰延ヲ爲シテ、尙足ラヌ部分ハ公債ニ依テ支辨スル積リテアル、若シソレガ出來ルナラバ、地租案ハ必ズ政府ハ飽マデモ之ヲ徹底シヤウトハ思ハナイト云フコトヲ、或政治家ニ内議ヲ整ヘテアルカラ、議會ニ於テハ其通りニシヤウト云フコトヲ、貴族院ノ六團體ノ委員ニ之ヲ話サレタト云フコトデアリマス、私モ唯齊東野人ノ語ト見レバ、此ノ如キコトヲ堂々タル此議會ニ於テ、質問スル譯デハゴザイマセヌガ、是ハ公然ノ秘密ノヤウナモノデ、貴族院ノ團體ノ委員ニ對シテ、立派ニ御話モアッタト云フコトデアリマシタナラバ、果シテ事實デアラウト思ヒマス、併シ是ガ事實デアナイト云フナラバ、其事實デアナイト云フコトヲ承リタイ、若シ又事實デアルト云フコトナラバ、此議會ニ地租案ヲ提出シ、殊ニ此地租案ト云フモノハ、海軍ノ擴張費ト云フコトデ、前議會ノ解散問題トナツタル所ノ重大ナル問題デアアル、ソレヲ總理大臣ガ提出シナイ、時宜ニ依テハ撤回スルコト云フヤウナ意思ヲ洩ラサレタト云フ譯ハ、如何ナル御心底デアリマセウカ、果シテ貴族院議員ノ六團體ニ、御話シナツタコトガアルカナイカト云フコトガ第一、若シアツタト云フナラバ、果シテ其話ノ通り地租案ヲ固執セヌデ、時宜ニ依テハ政府ハ撤回スルコト云フ、唯試ミニ之ヲ出シタト云フ御趣意デアアルカ、外ノ大臣デハハケマセヌガ、總理大臣ガ此六團體ノ委員ニ御話シナリ、又妥協トカ何トカ云フコトヲ、或政治家ニ御話ニナツタト云フコトデアリマスレバ、願クハ總理大臣カラ、此事ニ付イテ明ナル御答辯ヲ得タイ

(内閣總理大臣伯爵桂太郎君登壇) 工藤君ニ御答ヲ致シマス、工藤君ハ私ガ前ニ貴族院ノ六團體ノ諸君ト、云々ヲ話シタカト云フコトノ御質問デアアル、多分工藤君ハ新聞紙テ御覽ニナツタラウト考ヘル、私ハ今日此席ニ於キマシテ、私ガ六團體ノ貴族院議員諸君ト話シマシタコトヲ、御答辯ヲ致ス限リデアナイト考ヘマス

○内山敬三郎君(五十一番) 私ハ總理大臣及當局ノ大臣ニ、一應質問致シタイノデアリマスガ、此行政及財政ノ整理ト云フコトニ付イテハ、每議會ノ殆ド宿題ノヤウニナツテ居リマス、而シテ昨年政府ガ約四十万圓バカリノ節約ヲサレタ、而シテ本年ニ於キマシテハ、昨今新聞紙上ノコトハ、總理大臣ハ茲ニ答フルコトガ出來ナイト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私モ新聞紙上デ此事ハ見マシタノデアリマスガ、政府ハ毎年百万圓ヅ、行政ノ整理ヲ今後スル、斯ウ云フコトガ此間新聞ニ出テ居ル、是ハ私ガ新聞見タノミナラズ、又總理大臣ガ貴族院ノ六團體ニ向テモ、此事ヲ明言サレタト云フコトヲ、私ハ仄カ

リマセヌ、此財政計畫ノ大體ニ就イテ、餘程必要ト信ジマスカラ、果シテ公債支辨ノ案ヲ、議會ニ提出スルカ、セヌカト云フ一言ヲ聽キ得レバ、満足スルノデアリマス

○大藏大臣男爵曾禰荒助君登壇 大竹君ニ御答致シマス、諸種ノ御質問モゴザリマセウカラ、ドウカ書面デスッカリ出シテ下サイ、明瞭ニ御答致シマス

○工藤行幹君(二百五十九番) 私ハ總理大臣ニ向テ説明ヲ求メマス、ソレハ何デアアルカト申シマスレバ、總理大臣ハ或日ニ貴族院議員ノ六團體トカ云フモノヲ招カレテ、是ヘノ御話ニハ、政府ハ多分議會ニ地租案ヲ提出スルケレドモ、併シ強テハ可決シナイ、強テ之ヲ決定シヤウトハ思ハナイ、政府ハ海軍擴張サヘレバ宜シイ、故ニ成ルタケ此上行政ノ整理財政ノ整理ヲナシ、或ハ事業ノ繰延ヲ爲シテ、尙足ラヌ部分ハ公債ニ依テ支辨スル積リテアル、若シソレガ出來ルナラバ、地租案ハ必ズ政府ハ飽マデモ之ヲ徹底シヤウトハ思ハナイト云フコトヲ、或政治家ニ内議ヲ整ヘテアルカラ、議會ニ於テハ其通りニシヤウト云フコトヲ、貴族院ノ六團體ノ委員ニ之ヲ話サレタト云フコトデアリマス、私モ唯齊東野人ノ語ト見レバ、此ノ如キコトヲ堂々タル此議會ニ於テ、質問スル譯デハゴザイマセヌガ、是ハ公然ノ秘密ノヤウナモノデ、貴族院ノ團體ノ委員ニ對シテ、立派ニ御話モアッタト云フコトデアリマシタナラバ、果シテ事實デアラウト思ヒマス、併シ是ガ事實デアナイト云フナラバ、其事實デアナイト云フコトヲ承リタイ、若シ又事實デアルト云フコトナラバ、此議會ニ地租案ヲ提出シ、殊ニ此地租案ト云フモノハ、海軍ノ擴張費ト云フコトデ、前議會ノ解散問題トナツタル所ノ重大ナル問題デアアル、ソレヲ總理大臣ガ提出シナイ、時宜ニ依テハ撤回スルコト云フヤウナ意思ヲ洩ラサレタト云フ譯ハ、如何ナル御心底デアリマセウカ、果シテ貴族院議員ノ六團體ニ、御話シナツタコトガアルカナイカト云フコトガ第一、若シアツタト云フナラバ、果シテ其話ノ通り地租案ヲ固執セヌデ、時宜ニ依テハ政府ハ撤回スルコト云フ、唯試ミニ之ヲ出シタト云フ御趣意デアアルカ、外ノ大臣デハハケマセヌガ、總理大臣ガ此六團體ノ委員ニ御話シナリ、又妥協トカ何トカ云フコトヲ、或政治家ニ御話ニナツタト云フコトデアリマスレバ、願クハ總理大臣カラ、此事ニ付イテ明ナル御答辯ヲ得タイ

(内閣總理大臣伯爵桂太郎君登壇) 工藤君ニ御答ヲ致シマス、工藤君ハ私ガ前ニ貴族院ノ六團體ノ諸君ト、云々ヲ話シタカト云フコトノ御質問デアアル、多分工藤君ハ新聞紙テ御覽ニナツタラウト考ヘル、私ハ今日此席ニ於キマシテ、私ガ六團體ノ貴族院議員諸君ト話シマシタコトヲ、御答辯ヲ致ス限リデアナイト考ヘマス

○内山敬三郎君(五十一番) 私ハ總理大臣及當局ノ大臣ニ、一應質問致シタイノデアリマスガ、此行政及財政ノ整理ト云フコトニ付イテハ、每議會ノ殆ド宿題ノヤウニナツテ居リマス、而シテ昨年政府ガ約四十万圓バカリノ節約ヲサレタ、而シテ本年ニ於キマシテハ、昨今新聞紙上ノコトハ、總理大臣ハ茲ニ答フルコトガ出來ナイト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私モ新聞紙上デ此事ハ見マシタノデアリマスガ、政府ハ毎年百万圓ヅ、行政ノ整理ヲ今後スル、斯ウ云フコトガ此間新聞ニ出テ居ル、是ハ私ガ新聞見タノミナラズ、又總理大臣ガ貴族院ノ六團體ニ向テモ、此事ヲ明言サレタト云フコトヲ、私ハ仄カ

リマセヌ、此財政計畫ノ大體ニ就イテ、餘程必要ト信ジマスカラ、果シテ公債支辨ノ案ヲ、議會ニ提出スルカ、セヌカト云フ一言ヲ聽キ得レバ、満足スルノデアリマス

○大藏大臣男爵曾禰荒助君登壇 大竹君ニ御答致シマス、諸種ノ御質問モゴザリマセウカラ、ドウカ書面デスッカリ出シテ下サイ、明瞭ニ御答致シマス

○工藤行幹君(二百五十九番) 私ハ總理大臣ニ向テ説明ヲ求メマス、ソレハ何デアアルカト申シマスレバ、總理大臣ハ或日ニ貴族院議員ノ六團體トカ云フモノヲ招カレテ、是ヘノ御話ニハ、政府ハ多分議會ニ地租案ヲ提出スルケレドモ、併シ強テハ可決シナイ、強テ之ヲ決定シヤウトハ思ハナイ、政府ハ海軍擴張サヘレバ宜シイ、故ニ成ルタケ此上行政ノ整理財政ノ整理ヲナシ、或ハ事業ノ繰延ヲ爲シテ、尙足ラヌ部分ハ公債ニ依テ支辨スル積リテアル、若シソレガ出來ルナラバ、地租案ハ必ズ政府ハ飽マデモ之ヲ徹底シヤウトハ思ハナイト云フコトヲ、或政治家ニ内議ヲ整ヘテアルカラ、議會ニ於テハ其通りニシヤウト云フコトヲ、貴族院ノ六團體ノ委員ニ之ヲ話サレタト云フコトデアリマス、私モ唯齊東野人ノ語ト見レバ、此ノ如キコトヲ堂々タル此議會ニ於テ、質問スル譯デハゴザイマセヌガ、是ハ公然ノ秘密ノヤウナモノデ、貴族院ノ團體ノ委員ニ對シテ、立派ニ御話モアッタト云フコトデアリマシタナラバ、果シテ事實デアラウト思ヒマス、併シ是ガ事實デアナイト云フナラバ、其事實デアナイト云フコトヲ承リタイ、若シ又事實デアルト云フコトナラバ、此議會ニ地租案ヲ提出シ、殊ニ此地租案ト云フモノハ、海軍ノ擴張費ト云フコトデ、前議會ノ解散問題トナツタル所ノ重大ナル問題デアアル、ソレヲ總理大臣ガ提出シナイ、時宜ニ依テハ撤回スルコト云フヤウナ意思ヲ洩ラサレタト云フ譯ハ、如何ナル御心底デアリマセウカ、果シテ貴族院議員ノ六團體ニ、御話シナツタコトガアルカナイカト云フコトガ第一、若シアツタト云フナラバ、果シテ其話ノ通り地租案ヲ固執セヌデ、時宜ニ依テハ政府ハ撤回スルコト云フ、唯試ミニ之ヲ出シタト云フ御趣意デアアルカ、外ノ大臣デハハケマセヌガ、總理大臣ガ此六團體ノ委員ニ御話シナリ、又妥協トカ何トカ云フコトヲ、或政治家ニ御話ニナツタト云フコトデアリマスレバ、願クハ總理大臣カラ、此事ニ付イテ明ナル御答辯ヲ得タイ

(内閣總理大臣伯爵桂太郎君登壇) 工藤君ニ御答ヲ致シマス、工藤君ハ私ガ前ニ貴族院ノ六團體ノ諸君ト、云々ヲ話シタカト云フコトノ御質問デアアル、多分工藤君ハ新聞紙テ御覽ニナツタラウト考ヘル、私ハ今日此席ニ於キマシテ、私ガ六團體ノ貴族院議員諸君ト話シマシタコトヲ、御答辯ヲ致ス限リデアナイト考ヘマス

ニ承テ居ル、此年々百万圓ツ、行政ノ整理ヲスルト云フコトハ、我邦ノ財政ガ裕カノ時分デアリマシメナラバ、左様ナ永年ノ行政ノ整理ト云フコトモ、或ハ其方法ヲ以テ満足シテ居ルカモ知レヌノデアルガ、併シ此財政ノ窮乏ナル際ニ當テ、金額ヲ標準トシテ毎年百万圓ツ、ノ行政ノ整理ヲスルト云フコトハ、吾々ハ満足ガ出来ナイト信シマス、行政ノ整理ト云フコトデアレバ、其整理ヲサレタ後ニ、始メテ金額ト云フモノガ現ハレテ來ルト云フコトガ、相當デアラウト思フ、金額ヲ先キニ極メテ置イテ、行政ノ整理ヲスルト云フコトハ、其順序ヲ顛倒シテ居ララウト考ヘマス、是ガ果シテ事實デアルヤ否ヤト云フコトヲ、質問スルノデアアル、ツレカラシテ若シ事實デアルト云フコトノ御答ヲ得タラバ、此行政ノ整理ニ付イテハ、政府ハ今ノ通り永年ヲ期シテ、行政ノ整理ヲスルト云フ覺悟デアアルカドウカ、即チ本年若クハ明年——本年中心行政ノ整理ハ、是キリ出来ナイト云フガケノ整理ヲナサル積リデアアルカ、一年限リデアハ出来ナイカラ、所謂繼續ノ整理ヲスルト云フ御方針デアアルヤ否ヤト云フ點ヲ伺ヒタイ、ツレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ、彼ノ北清事變ノタメニ賠償金ヲ得タ所ノ、彼ノ清國債權デアリマス、彼ノ清國債權ヲ得マシタ當時ノ、即チ十六議會ニ於テ、政府ハ之ヲ特別會計トシナケレバ往カヌト云フ所ノ、反對ガアルニモ拘ラズ、其當時ニ於テ、公債政策ヲ禁絶スルト云フ言明ノ下ニ、此債權ヲ預金部ニ賣渡シテ、サウシテ之ヲ一般歳入ニ繰入レテシマツタノデアアル、然ルニ其後銀貨ガ非常ニ下落シマシタ、メニ、今日承ハル所ニ依レバ、昨年以來清國ハ此債權ノ金貨拂フ、銀貨拂ニ引直シテ貫ヒタイト云フコトヲ、列國ニ向テ交渉ヲ始メタ、然ルニ此頃ノ形勢デアハ、日英ヲ除クノ外、他ノ列國ハ既ニ略シテ之ヲ承諾シタト云フコトガ書イテアル、是ハ當ニ日本ノ新聞紙ニ書イテアルノミナラズ、歐米ノ新聞紙ニモ明ニ書イテアル、サウシマス、若シ是ガ日英ヲ除クノ外、列國ガ之ヲ承諾シタト云フ場合ニ當テ、日本ガ之ヲ承諾シナケレバナラヌト云フ場合ガ生ズルカモ知レナイ、既ニ今日日本ニ向テ、哀訴ノ歎願ヲ、清國カラ申込メト云フコトヲ、私ハ聞イタノデアアル、若シ斯様ナルコトガ事實ニ於テ顯ハレテ來テ、若シ之ヲ承諾シナケレバナラヌト云フ場合ガ生ジタラバ、此先ニ政府ハ確定不動ナリトシタ所ノ清國債券ハ、實不安定ノ債券ト化スデアラウト私ハ考ヘマス、又銀貨拂ニ之ヲ引直サナケレバナラヌト云フコトニナツタナラバ、ソレガタメニ縱令ヒ、預金部ニ賣渡スコトニナツテ居テモ、非常ナル影響ガ財政ノ上ニ起ルコト、思ヒマス、故ニ此際ニ於テ、私ハ第一ニハ果シテ日英ヲ除クノ外、列國ガ今日之ガ承諾ヲ清國ニ向テ與ヘタト云フコトガ事實デアアルヤ否ヤ、第二ニハ支那ガ日本ニ向テ此項ソレヲ申込メタト云フコトハ、果シテ事實ナリヤ否ヤ、若シ申込メタトシタナラバ、政府ハ之ニ向テ如何ナル考ヲ有ツテ居ラルルカ、此點ニ於キマシテ御答ヲ願ヒマス

(政府委員阪谷芳郎君登壇)
 ○政府委員(阪谷芳郎君) 大分長イ御問デゴザイマシタガ、最初ノ御尋ネハ、行政費カラ金ヲ百万圓ツ、減スト云フコトガ、出來ルカト云フ御問デゴザイマシタ、是ハツレツレ腹案ガゴザイマシテ、今回ノ議會ニ於キマシテハ、臨時議會デゴザイマスカラ、案ヲ具ヘテ出スト云フ譯ニハ參リマセヌ、三十七年度ノ豫算ニ於キマシテハ、ソレツレツレ計畫ヲ立テマシテ、御協賛ヲ仰グ積リテゴザイマス、ツレカラシテ行政ノ整理ハ、ヤハリ繼續スルカト云フ、次ノ點ノ御問ノヤウデゴザイマシタガ、是ハ今ノ百万圓ノ費用ヲ減ジマスニ付キマシテハ、

之ニ伴ヒマシテ、ソレツレツレ整理シテ進行致ス計畫ニナツテ居リマス、ツレカラシテ此清國債券金貨拂ノ御尋ネデゴザイマスガ、是ハマダ同意致シタコトハナイノデアリマス、今日ハ即チ此金貨拂ト云フコトニナツテ居リマスカラ、歲計上ニ於キマシテ、別段此處ニ御協賛ヲ請フ程ノ必要ハゴザイマセヌ

○工藤行幹君(二百五十九番) 私ノ質問ニ對シテ、總理大臣ノ御演說ハ、如何ニモ不親切デアアルノカ、或ハ答ヘルコト能ハザルカ、堂々タル議會ニ於テ、内閣大臣ノ責任上、私ノ爲シタ所ノ尋ネルコトニ對シテ、新聞ニアルナラ新聞三問ヘト云フヤウナコトハ、甚ダ不親切ト思フ、因テ尙私ガ質問シタイコトガアリマスガ、唯今ソレニ居ラレナイノハ、モウ御退場ナススタノデアアルカ、ツレトモマダ出ルノデアアルカ、若シ總理大臣ガ出ラレラナラ、モウ一遍尋ネタイカラ、議長カラ御質シテ願ヒタイ、モウ御退出ニナツタノデアリマスセウカ

○副議長(杉田定一君) 議長ニハ分リマセヌ

○森田卓爾君(二百八番) 私が發言ヲ得テ居ル、私ハ……

○副議長(杉田定一君) 三百四十番ニ許シマシタ

○西村丹治郎君(三百四十番) 私ハ此臨時議會ニ於キマシテノ主要ノ問題ハ地租問題デアアル、地租問題ヨリ、現内閣ノ死命ヲ制スル所ノ、重大問題デアルト云ツテ宜シイ、然ルニ内閣諸公ハ、此臨時議會ニ於ケル主要ナル地租問題ニ就キマシテハ、未ダ何等ノコトヲ言ハレナイ、ツレニ付イテ質問ヲシタイ、即チ前期議會ニ於テ大藏大臣及阪谷政府委員ハ何ト云ハレタ、其地租増徴ヲ繼續スル、其外ニハ一錢一厘モ海軍擴張ニ充ツベキ財源ハナイ、ツレ故ニ諸君ガ若シ地租繼續増徴ニ反對セラル、ナラバ、即チ海軍擴張ニ反對セラル、ノデアアルモノト、政府ハ認メル外ハナイト申サレタガ、即チ今日ト雖モ、其當時ノ所信、即チ地租増徴ヲ繼續スルト云フコトヨリ外ニハ、海軍擴張其外ノ經費ニ充ツベキ所ノ財源ハ、一錢一厘モナイト今日モ尙言ハル、ノデアアルカ、即チ地租繼續以外ニハ、決シテ海軍擴張ニ充ツル所ノモノハ一錢一厘モナイト、今日モヤハリ其通ニ一歩モ枉ケラレヌノデアアルカ、勿論私モ政府ノ責任上、其通相違ナイト云フコトノ御答辯アルベキ筈トハ、確信致シマスケレドモ、參考ノタメ一應大藏大臣ヨリ、此當時ノ所信、即チ地租以外ニ、海軍擴張ニ充ツベキモノハ、一錢一厘ハナイノデアアルカ、一應大藏大臣ヨリ明確ノ御答辯アラントヲ希望スル

(大藏大臣男爵曾禰荒助君登壇)
 ○大藏大臣(男爵曾禰荒助君) 唯今ノ御發言者ニ御答致シマス、マダ地租條例ノ所マデ往ツテ居リマセヌカラ、暫ク堪ヘテ居リマシタガ、地租條例ハ現ニ出シテ居リマス、即チ是ニ據リタイト、斯ウ出シテ居ルノデアリマス、ツレカラ先キアナタ方ガ慎重ニ御議シマシテ、御意見ヲ御出シナスツテ下サイ、サウシタラ又御答辯スル所ガアリマセウ

○恆松隆慶君(八十二番) 總理大臣モ、モウ引込ミマシタカラ、施政ノ方針モモウ此位ニシテ、地租問題ノ方遺ルガ宜イ

○守屋此助君(二百六十一番) 私ハ施政ノ方針ニ對シテ、三ツノ開キタイコトガアル第一ニ問フ事柄ハ、大藏大臣ノ言ハレタノハ、十七議會ニ妥協ガ成リカケタコトガアッデ、其時ニ三分三厘ノ案ヲ三分案ニスル、三分減ト云フモノハ、鐵道ノ一部分、電話ノ一部分、一般行政ノ一部分ノ三箇ヨリ財源ヲ見付出シテ、海軍ノ財源ニ充テルト云フコト

官報號外 明治二十六年五月十七日 衆議院議事速記録第三號 曾禰大藏大臣ノ演說

トブルト云フ事柄ガアツト云ハレタ、十七議會ニ於テ、左様ナ夢ヲ内閣諸公ガ見テゴ
 ザツタ事柄ハアルサウマ、ケレドモ私ハ左様ナ事柄ハ少シモ知ラヌガ、鐵道ノ一部分カラ何
 程ノ金ガ出ルノデアアルカ、第二ニ電話ノ事業カラ何程ノ金ガ出ルカ、第三ニ行政ノ整理カ
 ラドノ位ノ金ガ出ルカト云フ、所謂十七議會ニ於ケル夢ヲ説ク如キコトヲシナイテ、十八
 議會ニハドウスルト云フコトヲ、言ウテ欲シノデアアル、然ルニ何事ヤ三分三厘ヲ三分ニ
 シテ妥協ガ十七議會ニ於テ成リカケタト云フ、ツレハ近衛公爵ノトキコトヲ云フデアアル
 カ、アノトキハ門前拂ヲ食テ居ルデアアルカ何ニモナイ、然ルニ十七議會ニ於テ見テ居
 タ夢ヲ繰返シテ、三分三厘ヲ三分ニシテ出スト云フノハ、何事デアアル、私ハ問フ十八議會
 ハ鐵道カラ何程、電話カラ何程ノ金ガ出ル、行政整理カラ何程ノ金ガ出ルカ答ヘテ貴
 ヒタイ、第二ニ私ハ新聞ノ記事ナドハ問ハナイ、事實ヲ問フ、事實ヲ問フ、ドウ云フ事實ヲ
 問フ、政府ノ先生達ハ貴族院ノ六團體ノ人ニ、左様ナ話ヲシタト云フ事實ガアルカナイ
 カヲ尋ネル、新聞ノ記事ハ新聞屋ニ問ヘト云フノハ、甚ダ無禮ナ言デアアル、私ハ決シテ新
 聞ノ記事ハ問ハヌ、左様ナ事實ガアルカナイカ、未ニハ足ラナイトキニハ、又元ノ借金政治
 ヲ繰返シテ、日本ノ財政經濟ノ基礎ヲ紊亂破壊スルト云フ政治ヲ再ヒスルカ、借金政
 略、公債政略ハ、日本ノ國ノ財政經濟ヲ紊亂破壊スルモノデアアルカ、是ハ暫ク止ム
 ルト云ウタ、其舌根ガ未ダ乾カヌデアハナイカ、然ルニ之ヲ繰返スト云フノハ、如何ナル意
 見デアアルカ、又左様ナ意見ヲ内閣ガ持ッテ居ルヤ否ヤ、是ガ第二ノ問、第三ハ大藏大臣ハ
 ドウ云ウコトヲ云ウタ、無禮ナ言ヲ放ッテ帝國議會ヲ侮辱シタ、何ト侮辱シタ、御問ノコ
 トガアルナラバ書面テ出シテ呉レ、自ら不能ヲ表明シタ、知覺神經ノナイ者トマデ私ハ思
 タ、ナセナラニオノ童兒ニモ能ク理解シ得ル言葉ヲ以テ問ウタデアハナイカ、サウシテ此問
 題ハ何事デアアル、此議會ハ何ノ議會デアアル、恐多クモ上ハ陛下ニ對シ、何ト奏請シテ
 前議會ガ解散ニシテアル、下ハ四千五百萬ノ同胞ニ對シ、何ノ責任ヲ持ツデアアルカ、
 此議會ハ慎重ニ眞摯ニ丁寧ニ議シタ、然ルニ財政政策ニ於テ政府ト議會ト意見ヲ異ニシ
 タト云フコトデアアルカ、此財政政策ニ就テ内閣諸公ガ親切ニ紳士ノ態度ヲ採ルナラバ、親
 切ニ教サレテコソ、上ハ陛下ニ對シテ忠良ナル内閣諸公デアリ、下ハ四千五百萬ノ同
 胞ニ對シテ、親切ナル政治家デアアル、然ルニ今ノ舉動ハ何タル態デアアル、是ガ親切ナ内閣
 諸公デアアルカ合フ態ト云フモノヲ四千五百萬ノ同胞ニ見セシムレバ、何ト云フ、諸君、此
 處ハ八團體ノ人ナドト、官宅ニ於テ電話スルヤウナ所デアナイ、天下ノ公事ヲ議スル場所デ
 アル、茲ニ於テ何ヲ云フデアアルカ、書面テ出セ、無禮ニモ程ガアル、此議會ハ公會場デ、
 天下ノ公事ヲ議スル場所デアアルカ、如何ニモ親切ニ、懇篤、責任ヲ有ツタコトヲ云ハナ
 ケレバナラヌノニ、己レ言葉窮シ議會ヲ侮辱シ自己ノ不能ヲ表明シ、サウシテ此議會ニ御
 臨ミニナルナラバ、最後ノ問、第三ノ最後ノ問ハ、飽マデモ帝國議會ノ、十八議會ニ向ッ
 テ、内閣諸公ハ、内閣諸公ハ喧嘩ヲ仕掛ケルデアアルカ、喧嘩ニ往カウト云フノデア
 アルカ、國民ト喧嘩ヲヤラウト云フノデアアルカ、此處ダケニ對シテ云フデアハナイ、即チ四千
 五百萬ノ同胞ノ信任ニ依ッテ選舉セラレタ處ノ此吾々議員デアアル、議會デアアル、此議會
 ヲ喧嘩腰テ御迎ニナルナラバ、國民ヲ敵トシテ喧嘩ヲシヤウト云フデアアル、此十八議會ハ
 ドウデアアル、ドコモデモ斯様ナ大切ノ事ヲ問ヘバ、書面テ出セト云フ無禮ニモ程ガアル、此
 前ニ問フタノ意味ガ分ラザレバ、アナタノ御問ハマダ分ラヌガ、アレハ斯ウデアアルカ、サウ

デアアルカト云ッテ、親切ニ問フテツレテモ分ラナケレバ、初メテ書面テ出セト云フコトデモ宜
 イカモ知ラヌガ、前ニ問ウタノ言葉ハ極ク鮮明、極ク明瞭デアアル、三尺ノ童子ニモ尙能
 ク聞取レル、會禰君ニハ分ラナカッタ、分ラヌトハ云ハナイガ、サウシテ見レバ、私ノ言葉ハ
 過激カ知ラナイガ、今ノ内閣諸公ハ國民ヲ敵トシ、國民ト喧嘩ヲシヤウト云フノカ、國民
 ヲ敵トシ國民ト喧嘩ヲシテサウシテ、海軍擴張ヲシヤウ、此海軍ノ擴張ヲ作ル先キニ、
 先ヅ國民ト戰フ、議會ヲ侮辱スル、斯様ナ結果ヲ見ル、夫故ニ私ガ前ニ申シタ通、第一
 ハ十七議會ノ夢ヲヤウナ妥協ノ如キモノデ、十八議會ノ財政計畫ヲ立テヤウトスルノカ
 ト云フ問、其問ニ就テハ鐵道カラ金ガ幾ラ、電話カラ金ガ幾ラ、行政整理カラ金ガ幾ラ
 出ル、細カク云ヘバ、ツレバ三ツニ分ケテ御答ヲナサレ、第二ハ新聞ノ記事ヲ問フデアナイ、
 事實ヲ問フデアアル、事實ハドウデアアルカ、貴族院ノ或團體ノ人ト云々ノ事柄ヲ云ウタ、
 其事實ガアルカナイカ、此處ハ公會場デアアル、無闇ニコソノ、暗闇テ政治上ノ話ヲス
 ルノガ得意ノ先生達ガ、明カニ是ハ答ヘラレタイ、ツレカラ書面テ出セト云フコトハ、
 喧嘩ヲシテモヤルカ、此ニツデアアル

○森田卓爾君(三百八番) 同シヤウナ質問デスカラ、御答ノ前ニ話シテ戴キタイ、私ノ
 ハサウ云フムツケシイコトヲ云フデアナイ、唯一ツ政府ハ昨年ノ議會デアハ、大層財政計畫
 ナリ總テノ豫算ノ計畫ニ就イテ、強イ態度ヲ取ラレタ、ドコモデモ是デナクテハイカヌ、斯ウ
 云フ態度ヲ取ラレタ、所ガ本年ハ地租案ト云ハズ、其他ノ擴張ノ費用ト云ハズ、歳出ト
 云ハズ、歳入ト云ハズ、自分ガ出シタ財政計畫其他ノ行政上ノ擴張若クハ縮小ト云フ
 コトニ就イテ、其他ニ出サレタ案ノ計畫ハ、詰リ重ナル其計畫ノ、殊ニ海軍擴張ノ如キモノ
 ハ、計畫シタ事業サハ出來レバ、ツレテ政府ハツレテ主トシテ満足スルツレテ支ヘル財源
 即費用ト云フモノハ、ドコカラ出テモ出サヘスレバ必シモ固執シナイ、計畫事業サハ出來
 レバ此地租カラ取ツテモ、行政財政ノ整理カラ取ツテモ、繰延カラ取ツテモ、ツレハ諸君ト
 御話シテ出來得ルダケ、ドノヤウナコトデモ妥協トカ、交渉トカデモ構ハナイト云フ方針カ、
 又去年ノヤウニ押ガ強ク、是カラ先キ一步モ整理ハ出來マセヌト、三分三厘以上ハ一
 厘モ負ケルト云フコトハ、出來ナイ、尙負ケルト云ツタラバ、議會ヲ解散ヲシテデモヤルト云
 フヤウナ、強イ腰カ強クナイカ(笑聲起ル)龍頭蛇尾ニ終テモ、金サヘ出來レバ御相談ニ
 預ルト云フ御了簡デスカ

(内山敬三郎君「チヨット質問ノ要領ヲ得ナカッタヤウデアアルカ」簡單ニ要領ヲ述
 ベル)ト呼ビ、又守屋此助君「私ノ答辯ヲ前キニ」ト呼フ)

○副議長(杉田定一君) 答辯ガナイヤウデスカラ、委員會テ御質問ニナツテハドウデ
 ス——議事日程第一ニ移リマス

第一 地租條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會

地租條例中左ノ通改正ス

第一條 地租ハ市街宅地ニ在リテハ地價百分ノ五其ノ他ノ土地ニ在リテハ
 地價百分ノ三ヲ以テ一箇年ノ定率トス

本條例ニ於テ地價ト稱スルハ土地臺帳ニ掲ケタル價額ヲ謂フ

附則

本法ハ明治三十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○守屋此助君(二百六十一番) 政府ハ答ガナイヤウデアハイカス、シナイナラシナイト云フコトヲ、政府委員ニ問ウテ戴キタイ、大臣ガ出テ居ルカラ、シナイナラシナイ、議長、ボンヤリシチヤイカス、餘程重大ナ事アルカラ、政府ガシナイナラシナイヲ宜シ、其事ヲ天下ニ公ニスル、シナイヤウナ位ハハイカス

○副議長(杉田定一君) 答辯ガナイヤウデアリマスカラ、議事日程ノ第一ニ移リマシタ
○守屋此助君(二百六十一番) イケマセヌ、ヤウチヤイケナイ、答ガナイカ答ガアルカ(議長イカス)ト呼ビ又「此事ハ將來ノ例ニモナルカラ明カニシテ貫ヒタイ」ト呼フモノアリサウスルト、議長ハ政府ノ先生達ヲ能ク庇テヤツテ、都合好クヤルト云フノデスカ
(議長惡例ヲ作ルベカラズ)ト呼フ者アリ

○副議長(杉田定一君) 待テ居テモ答辯ガアリマセヌカラ、次ノ議事日程ニ移ラタノデアリマス
○守屋此助君(二百六十一番) 宜シ、ソレナラ第一ノ議事日程ニ這入ッテ、繰返シテ質問スル

○副議長(杉田定一君) 朗讀ハ省略シマス阪谷政府委員
(政府委員阪谷芳郎君登壇)

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今日程ニ上リマシタ地租條例中改正法律案、是ハ說明ニモゴザリマス通、海軍ノ此度新タニ出來マス艦艇製造費、其他財源ニ充ツルガタメニ、請未致シマシタ次第ゴザリマス、昨年ノ案ハ三分三厘デゴザイマスガ、是ハ三分トアリマスルノガ、昨年ト違フテ居リマス

○守屋此助君(二百六十一番) 阪谷君ニハ問ハナイ、私ハ前ニ問ウテ居リタ事柄ニ付イテハ、最モ此唯今議事日程ノ第一ノ議事日程ニナッテ居ル此地租ノ事三分三厘ガ、三分ニ減ジタト云フ事ニ付イテ、此三厘ノ差デスカ、此三厘ノ差ト云フモノデハ、ドウ云フ具合ニスルト云フ事柄カ、第一ニソレヲ問ウテ置キマシタ、此事ハ此處デモイ言葉ヲ引繰リ返スノハ面倒デカラ、前ニ問ウタノヲ此處ヘ引ク、アレヲ答ヘテ貫ヒタイ、ソレカラソレニ續カッテ居ル彼ノ六團體云々ノ事實ノ事柄、ソレカラ第三ニ喧嘩腰デヤルカヤライカ、此地租ノ事ニ付イテモ關係ガアリマスルカラ、前ニ問ウタ事ヲ議長ニ私ハ希望スル、何ト希望スルカ、大臣ガ、責任ヲ有ッテゴザル内閣大臣ガ議場ニゴザルカラ之ニ答ヘルカ答ヘヌカト云フ事ヲ、明確ニシテ下サイ、此場所ハ何モ一人ノ私事ヲ議シテ居ル場所デナイ、ソレ故ニ此處ハ鮮明ニシテ、四千五百万ノ同胞ニ、如何ニ親切カ、如何ニ不親切カ、内閣大臣諸君ハ上下ニ向テ、如何ナル責任ヲ有ッテ居ル先生カト云フコトヲ、明カニ議長、ドウカ確ッカリ御問ヒテ願ヒタイ

(大藏大臣男爵曾禰荒助君登壇)

○大藏大臣(曾禰荒助君) 下度好イ場合デ、御問ヒガ獲セラレマシタカラ、御答致シマス、其鐵道ノ方ガ二百五十万程、ソレカラ電話ノ方ガ五十万、政費ノ方ガ百万、第二ノ方ハ私ガ答ヘル限リデゴザイマセヌ、第二ノ御問ハ即チ此質問ト云フコトニナリマスルト、私カラ申上ケルニハ及ハヌ話デスケレドモ、書面デヤツテ宜シト云フ、議院ノ中ノ規則ニナッテ居リマス

○守屋此助君(二百六十一番) ソレハ独ッテ居リマス

○大藏大臣(男爵曾禰荒助君) ソレナラバ、私ガ侮辱シタトカ何ト云フコトニハ、決シテ當リマスイト思ヒマス

○守屋此助君(二百六十一番) 問ウテナラヌト云フコトハ、現ニ答ヘテ居ルデハナイカ

○副議長(杉田定一君) 他ニ御質問ガゴザイマセヌカラ、議事日程第二ニ移リマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(八十二番) 此問題ハ、前會ニ於テ解散ヲ賭シテヤツタ、重大問題デゴザイマス、委員ハ少シ多イヤウデアゴザイマスガ、二十六名ヲ議長カラ指名セラレテ、十分審査アランコトヲ望ミマス
(贊成々々)ノ聲起ル

○副議長(杉田定一君) 恆松隆慶君ノ動議ニ、御異議ハゴザイマセヌカ
(異議ナシ)ノ聲起ル

○副議長(杉田定一君) 御異議ガナケレバ恆松君ノ御發議ノ通決シマス、議事日程第三ニ移リマス、朗讀ヲ省略シマス、阪谷政府委員

第三 府縣制市制及町村制中改正法律案(政府提出) 第一讀會

府縣制市制及町村制中左ノ通改正ス
府縣制第百三十四條第二號中「三分ノ一」ヲ「十八分ノ五」ニ市制第百二十二條第三號及町村制第百二十六條第三號中「五分ノ一」ヲ「六分ノ一」ニ改ム
附則
本法ハ明治三十七年度ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員阪谷芳郎君登壇)
○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今日程ニ上リマシタ法律案ハ、詰リ現行ノ程度ヲ、地租ノ増徴ニ伴ヒマシテ低メマシテ、詰リ現行ト同シヤウニシタイ、斯ウ云フ趣意デ、簡單ナル法律デアリマス

○恆松隆慶君(八十二番) 別ニ質問スル 必要モゴザイマセヌカラ、直チニ次ノ日程ニ移リマシテ、前ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス
(贊成々々)ノ聲起ル

○副議長(杉田定一君) 恆松君ノ御發議通、前ノ日程ノ委員ニ付託シテ、御異議ゴザイマセヌカ
(異議ナシ)ノ聲起ル

○副議長(杉田定一君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、議事日程第五ニ移リマス、朗讀ヲ省略シマス、阪谷政府委員

第五 軍艦水雷艇補充基金組入ニ關スル法律案 第一讀會

第五 (政府提出)
軍艦水雷艇補充基金組入ニ關スル法律案
第一讀會
明治三十七年度ヨリ同四十七年度ニ至ル十一箇年ノ間左ノ金額ヲ特ニ一般會計ヨリ軍艦水雷艇補充基金ニ組入ルヘシ

明治三十七年度 金千二十五萬圓
自明治三十八年度至明治四十六年度九箇年間毎年 金千五百萬圓
明治四十七年度 金百二十五萬圓
前項ニ依リ組入レタル資金ハ臨時艦艇製造費及之ニ伴フ設備費並明治四十六年度マテノ同艦艇及設備ノ維持費及同艦艇補充積立金ノ財源ニ充ツルモノトス

附則
明治三十六年度ニ要スル臨時艦艇製造費ハ現在ノ軍艦水雷艇補充基金ノ内ヲ以テ繰替支辨ス

〔政府委員阪谷芳郎君登壇〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今日程ニ上リマシタ法律案デゴザリマスルガ、是ハ海軍ノ財源ヲ特別ニシテ置キマシテ、不足シタ年又超過シタ年ト平均セシムルト云フ趣意ニ過ギマセヌ、不足ノゴザイマスノハ、二十六年度ニ要シマスル海軍ノ擴張費ノ財源ニ充ツルタメニ、一時水雷艇補充基金ノ中ヲ、繰替ヘ使用スルト云フコトデゴザイマシテ、是ハ此度ノ海軍擴張ノ地租案ニ伴ヒマシテ、俱ニ聯關致シテ居リマス所ノ法律デゴザイマス

〔政府委員阪谷芳郎君登壇〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 是ハ此度ノ擴張費ノ年割額ヲ御覽ニナリマス、一千萬圓以上ニ上ツタ年モアリ、又三十八年度ノ如キ二百餘萬圓モアルト云フヤウニ、軍艦製造ノ事業ノ進行ニ伴ヒ、年々支出致シマス金額ニ不同ガゴザイマス、ソレデ此度ノ計畫ハ公債ニ據ラヌト云フノガ、大體ノ主義ニナツテ居リマスカラ、年々一定ノ金額ヲ入レテ往キマシテ、其餘ツタ年ノ分デ、足ラヌ年ノ分ヲ補ヒマスガタメニ、之ヲ別ニ資金トシテ積ンデ置キマシテ、年々海軍ノ使フ分ダケ、資金カラ一般會計ヘ入レテ往ク、サウデゴザイマセヌト、餘ツタ年ノ財源ガ、他ヘ流用セララルト云フコトニナリマスカラ、ソレデ是ダケハ特別ノ資金ニシテ置キマシテ、年々海軍ニ入用スルダケノモノヲ、資金カラ一般會計ヘ入レテ使用スルト云フ、斯ウ云フ計畫アリマス

○櫻井駿君(百五十一番)

然ラバ詰リ此財源ニ取ル所ノ金ヲ、海軍ノ方ヘ先取シテ置カウト云フ計畫ト見テ、宜シウゴザイマス

○政府委員(阪谷芳郎君)

海軍ノ方ヘ年々一定ノ金ヲ入レテ置イテ、ソレカラ事實使フトキニ、要ルダケ使フト云フデアリマス

○櫻井駿君(百五十一番)

故ニ此十年間ト云フモノハ、一般會計ノ方ハドウナツテモ、海軍ニ差支ナイヤウニシテ置キタイ、即チ先取ニ此財源ヲシテ置クト認メテ、差支ゴザイマセヌカ

○政府委員(阪谷芳郎君)

其通デゴザイマス

○櫻井駿君(百五十一番)

ソレカラ其六百五十萬圓ノ補充基金トハ、チットモ關係ヲ有タセヌデアリマス

○政府委員(阪谷芳郎君)

是ハ全ク別デゴザイマス、基金ハ同ジ基金デゴザイマス

○副議長(杉田定一君)

御質問ガゴザイマセヌカラ、次ノ日程ニ移リマス

第六、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(八十二番) 是ハ十八名ノ委員ヲ、議長指名ニセラレンコトヲ望ミマス

○副議長(杉田定一君)

委員十八名ヲ議長ガ指名スルト云フ恆松君御發議通り、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(杉田定一君) 御異議ナケレバ、其通決シマス

○恆松隆慶君(八十二番)

續イテ動議ヲ出シマスガ、議事日程第七ヨリ第十マデハ關聯シタ問題デアリマスカラ、一括シテ議題トナサレンコトヲ望ミマス

○副議長(杉田定一君)

日程第七ヨリ第十マデ一括シテ議題ニ供スルト云フ恆松隆慶君ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(杉田定一君) 御異議ナケレバ其通り致シマス

第七 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條中「姫路近傍」ヲ「和田山」ニ改ム

第七條中「姫路近傍」ヲ「和田山」ニ改ム

第八條中「十二箇年」ヲ「二十箇年」ニ改ム

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第九 明治二十七年法律第十號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(八十二番) 前回モ出タ案デ、其儘デスカラ、直ニ二十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○櫻井駿君(百五十一番) 此鐵道敷設法案ハ、第十七議會ノ時分ニ、鐵道會議ハ廢止スルト云フコトガアリマシタガ……

○副議長(杉田定一君) 政府委員ノ說明ガアリマス、淺田政府委員

〔政府委員淺田德則君登壇〕

○政府委員(淺田德則君) 唯今議題ニナツテ居リマス、鐵道敷設法中改正法律案ニ付イテ、チヨット一言說明致シマス、是ハ本法ガ改正ヲ要シマスル點ハ、第一條、第七條中、姫路近傍トアルノヲ和田山ト改メマス、第八條中ノ十二箇年ヲ二十箇年ニ改ムルデアリマス、テ幾ニ本會ニ於テ、決定セラレマシタル所ノ、姫路鳥取ノ線ニ就キマシテ、實地精細ノ調査ヲ致シマシタ結果、工事ノ上及將來鐵道ノ連絡上ニ於キマシテ、和田山ヲ取リマスル方ガ有利ナリト認メマシタデアリマス、尙十二年ヲバ二十箇年ニ致シマスルト云フコトハ、諸君モ御承知ノ通、此第一期線ハ明治二十六年ヨリ明治二十七年ニ至リマスル期限ヲ定メテアリマス、然ルニ其間ニ經濟上ノ變動若ハ政府財政上ノ都合ニ依リマシテ、屢ニ繰延ヲ致シマスルコトノ已ムヲ得ザルニ出デマシテ、爲ニ工事ハ未ダ半ハナラズシテ、期限ハ將ニ盡キントスル場合ニ至リマシタデアリマス、故ニ之ヲ八箇年延長致シマシテ、即チ二十箇年ト致シマシテ、此當初ノ目的ヲ遂行スル見込デアリマス、ドウカ速ニ御協賛アラントラ望ミマス

○藤金作君(百五十番) 唯今質問致シマス、此改正ノ結果哩數ハドレダケ伸縮スルカ、其變更ノ結果、哩數ノ伸縮ハドウナツテ居ル、又之ニ對スル建築費ハ如何ニナルト云フ調査ガ出來テ居ルナラ、御答辯ヲ請ヒマス

〔政府委員古市公威君登壇〕

○政府委員(古市公威君) 和田山ト鳥取ト、ソレカラ姫路鳥取ノ哩數、是ハ同ジコト、云ツテ宜イ、一鎖ノ違ヒヨリアリマセヌ、和田山ト鳥取、姫路ト鳥取ナラバ、ソレカラ工費デスカ、工費ハ姫路ノ方ガ廉イデス、鳥取和田山間ガ千三百九十万、ソレカラ鳥取姫路間ガ千二百六十萬バカリデアリマスカラ、百二十萬圓バカリ違ヒマス

○藤金作君(百五十番) 減ル方デスカ

○政府委員(古市公威君) 増ス方デゴザイマス

櫻井駿君(百五十一番) 鐵道敷設法ノ改正案ハ、昨年モ出テ改正デアリマスルガ、其時分ニ鐵道會議ヲ廢スルト云フコトガ出テ居タノデスガ、今度ハ鐵道會議ヲ廢スルト云フコトガナクナツタ、昨年ニハ不必要デアラフコトヲ認メタ理由ヲ、御説明ヲ願ヒマス

(政府委員淺田德則君登壇)
○政府委員(淺田德則君) 櫻井君ノ御問ニ御答シマス、今回ハ最モ緊急ト認メマシタルモノヲ提出致シマス、鐵道會議ハ此度ハ提出致シマセヌ、鐵道會議ヲ廢止スルト云フコトニ付キマシテハ……

○櫻井駿君(百五十一番) モウ一ツ——此鐵道會議ト云フノハ、鐵道敷設法中ニアツテモト記憶シテ居リマス
○政府委員(淺田德則君) ドレデス
○櫻井駿君(百五十一番) 鐵道會議
○政府委員(淺田德則君) 鐵道會議ハ鐵道敷設法中ニアルノデス

○櫻井駿君(百五十一番) 其中ノ箇條ニ鐵道會議ヲ廢スト云フコトガ出テ居タ、今度ハ出テ居ラヌト云フノハ、夫ハ緊急ト云フテモ、一ツノ法律デアルカラ、書クニハ一箇所ニ書ケルノデアアルガ、必要ガアルカナイカト云フコトガ、問題ガ長クナルカラト云フコトヲ恐レテ、態ト今度御出シニナラナクアルカ
○政府委員(淺田德則君) サウ云フ意味ハナナイ、今回ノハ政府ガ緊急ト認メタダケヲ擇ヒマシテ、サウシテ提出シタノデアリマスカラ、鐵道會議ヲ又廢止スルト云フコトハ、今回ハ提出致シマセヌ

○櫻井駿君(百五十一番) 緊急トハ見ナイト云フ……
○政府委員(淺田德則君) 他日之ヲ提出スル時機ガアルト思ヒマスカラ、今回ノ議會ニハ提出致シマセヌ

○櫻井駿君(百五十一番) ソレデハ今日デハ、政府ハ緊急ノコト、認メナカッタト、認メテ差支ナイノデスナ
○政府委員(淺田德則君) 左様デアリマス

○町田猛郎君(九十五番) 唯今ノ御辯明ニ依リマスト、陰陽聯絡線ガ、姫路近傍ガ和田山ト云フコトニ變リマシテ、却テ費用ガ増シテ居ルヤウデアリマスガ、其費用ノ増シタニモ拘ラズ、和田山ニナリマシタト云フ理由ヲ、伺ヒタウゴザイマス

(政府委員古市公威君登壇)
○政府委員(古市公威君) 成程御尋ノ通、費用ハ増シマスガ、姫路鳥取ハ至ッテ線路ガ惡ウゴザイマス、調査ノ結果彼ノ志度坂ト云ヒマスガ、地圖ノ所ノ美作因幡ノ筋違デアリマス、アスコソコ四十分ノ一デカツク、遣ッテ、サウシテ一哩半バカリノ隧道ヲアスコニ貫カネバナラヌ其四十分ノ一モ之ハ私一個人ノ考ヘデアリマスガ、四十分ノ一ハ餘程難儀ダト思フ、強テヤレバ出來マセウガ、彼ノ谷川ノ線路上ニ脊負ハナケレバナラヌヤウニナル、サウスト維持ガ餘程難儀ダラウト考ヘル、之ニ反シテ和田山鳥取間ハ線路ガ宜シトハ勿論申サレマセヌガ、出來上ッテ線路ノ勾配ガ六十六分ノ一ナレバ、確カニ往ク管デゴザイマス、ソレカラ工事ノ施行ノ都合カラ言ウテモ、餘程難儀ガ其間ニアルノデアリマス、海岸線ハ總テノ運搬ガ便利デアル、ソレカラ仕事ガムツカシイガ、方々ニ散在シテ居ルデアリマスカラ、之ヲ先ツ其極大體ヲ比較シテ見ルト、一ト一半位ナリ——難易カラ云フト、一ト一半位ノ割合トシテ調査ニナッテ居リマス、即チ片方ガ五年ニハ出來ルモノナレバ片方ガ七年半掛ルト、マア斯ウ云ウコトニナッテ居ル、尤モ其重キヲ置ク理由ハ、到

底此山陰ノ縱貫線ト云フモノハ出來ネバナラヌ、山陰ノ縱貫線ガ出來ルトキニハ、鳥取和田山ノ線ハ是非出來ニヤナラヌ線路デアル、テ一方ハ福知山舞鶴ト云フモノガ今出來ツ、アルト、殘ル福知山和田山ト云フモノハ、十八哩バカリノ所ガ連ガリサヘスレバ、ズツト山陽間ノ大部分ガ出來ル、是ガ早ク出來タノガ、詰リ國家ノタメニ利益デアル、斯ウ云フ考デ此變更ヲ提出シタ次第デアリマス

○原田越城君(六十五番) チョット御尋ネラシタイノデスガ、陰陽聯絡線ニ限ッテ、竣功期限ヲ延スト云フコトデアリマスカ、此竣功期限ヲ延ス理由ハナナイノデアリマスカ
○藤金作君(百五十番) 序デニモウ一ツ伺ッテ置キマス……

○政府委員(古市公威君) 是ハ總テ第一期線ニ對シテ、總ア二延バスノデ……
○藤金作君(百五十番) 極簡單ナコトデ、唯今ノ御説明ノ如クナレバ、改正案ノ線路ノ方ハ餘程宜シイ、線路モ亦格別ノ差ハナイ、併ナガラ事實ノ上ニ於テ、此工費ハ百二三十万圓増スト云フコトニナル、然ラバ其前ノ姫路近傍ト云フ線路ハ、若シソレヲ實地ヤル日ニ於テハ、違算ガアツタト云フコトヲ意味スルノデ、百二十万圓金額ガ餘計ニ掛ルト云ヘバ、今政府委員ノ説明ハ事實ニ於テ、今度ノ改正、和田山ノ線路ノ方ガ餘程簡易ニナル、又線路モ宜シト、斯ウ云ヘバ、以前ノ此姫路近傍ト云フ線路ハ工費ニ違算ガアツタデアルト云フコトヲ、事實ノ上ニ表明スルヤウニナルガ、若シ之ヲ改正シナイト云フトキニナレバ、此姫路近傍ト云フモノハ、以前ノ豫算金額ヨリズツト増スノデアリマスカ、尙ソレバ一層確メテ置キタイノデ……

○政府委員(古市公威君) チョット御尋ノ要領ヲ得兼シタガ、詰リ今ノ百二十万圓ト云フノハ、總テ唯今ノ豫算ニ直シテ比較シテマアル、二十六年ノ此時分ノ豫算デアリマス、其豫算デハ逆モ當初ノ計畫通出來マセヌノデ、追加豫算ヲ提出シテ居ル、其追加豫算ヲ提出スル豫算デ比較シテ百二十万圓ノ違ヒガアル、直シテ豫算デ正確ナ豫算ニ直シテ比較シテ、百二十万ノ違ヒガアル

○藤金作君(百五十番) 元ト豫算ガ惡ルカッタ……
○政府委員(古市公威君) 足リナクナツタダケハ足リナクナツテ居ル、ソレガ追加豫算ニナッテ出テ居ル

○副議長(杉田定一君) 御質問モ大抵盡キタヤウデスガ、恆松君ノ説ハ十八名ノ委員デアリマスガ……
○恆松隆慶君(八十二番) 十八名、議長指名デ……
○副議長(杉田定一君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)
○副議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマスカラ其通り決シマス——第十一ノ日程ニ移リマス議案ノ朗讀ヲ省略シマス安廣政府委員

第十一 度量衡法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
度量衡法中左ノ通改正ス

第七條 農商務大臣ハ副原器ニ依リ檢定原器ヲ製作セシメ度量衡器檢定ノ標準ニ供ス
第九條 第二項中「及定期間ニ於テ」ヲ削ル
第十條 度量衡器ノ種類、形狀、物質、公差及使用ノ制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 度量衡器ノ檢定、取締及臨檢ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條中「取締ノ爲ニ行フ」ヲ削リ「吏員」ヲ「官吏」ニ改メ左ノ一項ヲ加フ
當該官吏臨檢ノ際度量衡ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ其ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得
第十五條 免許ヲ受ケスシテ度量衡器ノ製作又ハ修復ノ業ヲ營ミタル者ハ二十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス
左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 免許ヲ受ケスシテ度量衡器ヲ販賣シタル者
二 檢定ヲ受ケス若ハ檢定ノ效力ヲ失ヒタル度量衡器ヲ販賣シ又ハ之ヲ營業ノ目的ニ使用シタル者
三 差狂アル度量衡器ナルコトヲ知テ之ヲ販賣シ又ハ營業ノ目的ニ使用シタル者
四 官吏ノ臨檢又ハ差押ヲ拒ミタル者

附則
本法ハ明治二十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
〔政府委員安廣伴一郎君登壇〕
○政府委員(安廣伴一郎君) 簡單ニ度量衡法ノ改正ノ理由ヲ説明致シマス、現行ノ度量衡法ニ依リマスレバ、五箇年毎ニ度量定期檢定ヲ致スコトニナツテ居リマスルガ、此方法ニ依リマスルト、是迄ノ經驗ニ徴シマスレバ、一時ニ多數ノ技術員ヲ養成スルコトモ困難ニ從テ費用ガ餘計ニ要ルカラ、ソレ程效能ガ宜クナイト云フコトニナツテ居リマス、ソレニ依テ來年カラ「丁度來年ガ五年目ニ當テ居リマスカラ、來年カラ定期檢定ヲ改メテ、當時檢定ノ方法ニ致シタイ、斯ウ云フ考テ此改正案ガ提出ニナツテ居リマス、此他是マデノ經驗ニ徴シマシテ、一二不便ナル箇所ヲ修正シマシタノデゴザイマス、御贊成アラントラ希望致シマス
○副議長(杉田定一君) 御質疑ガナイヤウデスカラ、第十二ノ日程ニ移リマス

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○恆松隆慶君(八十二番) 是ハ九名ノ委員ヲ、議長ガ指名セラレントラ希望致シマス
○副議長(杉田定一君) 恆松君ノ御發議ノ通九名ノ委員ニ議長ガ指名スルコトニ御異議ハゴザイマセスカ
〔贊成々々ト呼フ者アリ〕
○副議長(杉田定一君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス、第十三ノ日程ニ移リマス
朗讀ヲ省略致シマス、松尾政府委員

第十三 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
第三條ニ左ノ如ク加フ
政府ハ時宜ニ由リ前項ノ据置年限ヲ五箇年トシ其ノ翌年ヨリ五十箇年間ニ償還スルモノトシテ起債スルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ起債シタルモノノ利子ハ毎年三月及九月ニ於テ之ヲ仕拂フ
第一項ノ規定ニ依ル公債ハ債權者ノ請求ニ依リ第二項ノ規定ニ依ル公債ニ變換スルコトヲ得

〔政府委員松尾臣善君登壇〕
○政府委員(松尾臣善君) 臺灣事業公債法ノ改正案ヲ提出シマシテ理由ヲ、チヨトト申上ゲマス、臺灣事業公債法ニ定メテゴザリマスル所ノ償還年限ト、利息ヲ渡シマスル期限トガ、他ノ鐵道公債又ハ彙ニ定メテゴザリマスル事業公債ノ、償還年限利息渡シノ期限ト折合ヒマセヌガタメニ、臺灣事業公債ノ市場ノ賣買上ガ、非常ナ不便ヲ感ジテ居リマス、ソレガタメニ價格モ亦自カラ上リマセヌヤウナ、不利ガゴザリマスルガタメニ、此度此二ツノモノヲ今申上ゲマシタ公債ト、償還年限ト利息ノ渡シ期限ヲ、同一ニ致シマシト云フ考テ、此案ヲ出シマシテゴザイマス、ドウウ御審議ノ上、御贊成アラントラ願ヒマス
○副議長(杉田定一君) 別段御質問モゴザイマセヌヤウデスカラ、日程第十四ニ移リマス

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○恆松隆慶君(八十二番) 是モ九名ノ委員ヲ、議長ノ指名ヲ願ヒマス
○副議長(杉田定一君) 恆松君ノ御發議ノ通九名ノ委員ヲ議長ガ指名スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(杉田定一君) 御異議ガナケレバ其通決シマス——議事日程第十五ニ移リマス——朗讀ヲ省略致シマス、松尾政府委員

第十五 日本興業銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
日本興業銀行法中左ノ通改正ス
第八條ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ大藏大臣ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス
第九條第四號中「地方債證券、社債券及株券ニ關スル」ヲ削ル
第十二條中「五倍」ヲ「十倍」ニ改メ「其ノ所有ニ係ル」ノ下ニ「國債證券」ヲ加フ
第十二條ノ二 日本興業銀行ハ外國ニ於ケル公益事業ニ對シ資金ノ需要アル場合ニ限り大藏大臣ノ認可ヲ得タルトキハ本法第十二條第十五條及商法第二百條ノ規定ニ依ラスシテ債券ヲ發行スルコトヲ得
前項公益事業ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第十三條中「券面金額五十圓以上」トシ「ヲ削ル」
第十四條但書ヲ削リ左ノ一項ヲ加フ
日本興業銀行ニ於テ債券ヲ發行スル場合ニハ商法第九十九條ノ規定ヲ適用セス
但シ大藏大臣ノ認可ヲ經テ買入消却ヲ爲スコトヲ得

〔政府委員松尾臣善君登壇〕
○政府委員(松尾臣善君) 唯今議題ニナリマシタ興業銀行法中改正案、此改正ヲ求メマスル主要ナル點ハ、公益事業ニ對シ資金ノ需要アル場合ニ、其供給ヲ裕ニ致シマスル便ヲ開クト申スコトガ、主點デゴザリマス、其他ノコトハ、現行法ノ不備ヲ補ヒマスルモノトデゴザリマス、是亦御協賛アラントラ願ヒマス
○鈴木總兵衛君(五十九番) 質問ガアリマス、此外國ニ於ケル公益事業ト指シタノ

但シ大藏大臣ノ認可ヲ經テ買入消却ヲ爲スコトヲ得

ハ、目今ハ朝鮮ノ京釜鐵道ヲ指シタノデアアルカ、或ハ其他ニモ何方政府ハ見ル所ガアリ
マスカ

○政府委員(松尾臣善君) 是ハ京釜鐵道ノ如キ、形ノアルモノヲ指シタ案デハゴザイ
マセヌ、況ク民間ニ涉リマシテ、資本ノ需要ヲ仰ギマスル者ニ對シテ、供給ノ道ヲ開カウト
思フノデゴザイマス、京釜ト云フヤウナモノヲ指シタノデハゴザイマセヌ

○平田二郎君(三百四十九番) チョット、伺テ置キマスルガ、御提出ノ案ニ依リマス
ト、第十二條ノ二三日本興業銀行ハ外國ニ於ケル公益事業ニ對シ資金ノ需要アル場
合ニ限リ大藏大臣ノ認可ヲ得云々ト申シマスルト、此現行ノ興業銀行法ニ依リマス
ト、債券ヲ起シマス場合ニハ、其貸附金及拂込金ノ何倍、斯ウ云フ金額ガ規定シテアリ
マスルノデ、今度御提出ノ議案ニ依リマスルト、十倍ニ債券ヲ餘計ニスルト云フコトデアリ
マスガ、尙此上ニ外國ニ於ケル公益ニ關スルモノヲ、勅令ニ規定シタ以上ハ、之ニ用ユル
所ノ金額ニ限リ、十倍ノ上ニ二十倍デモ、五十倍デモ、債券ヲ起シテ宜シイ、大
藏大臣ノ認可ヲ得レバ、幾ラデモ起シテ宜シイト云フヤウナルヤウニ思ハレマスサウナ
テ來マスト、外國ニ起ス所ノ公益アル事業ト云フモノハ、餘程確カナル事業ナケレバ出
來ヌ、サウドシク、債券ヲ起シマス、若シ其債券ニ不都合ヲ生ジマシタ場合ニハ、興業
銀行ノ全體ニ於キマシテ、不利益ヲ生ズルト云フコトニナツテ來マス、此公益ニ關スル所ノ
勅令ヲ以テ定メマス、公益ニ關スル規定ニ依リテ起サル、所ノ債券ニ對シマシテハ、別ニ
何カ附屬ノ法律案デモ御提出ニナリマシテ、政府ハ御保護ニテモナルノデスカ、何モナク
起シテ宜シイノデアリマス、サウナツテ來マス、銀行ノ危險ヲ生ズルト云フコトガナイノデ
スカ、其點ヲ伺テ置キタイ

○政府委員(松尾臣善君) 是ハ別ニ附屬ノ法律等ヲ拵ヘテ出シマス積リテゴザイマセ
ヌ、即チ其公益ト云フ範圍内ニ於キマシテ、其事柄ハ勅令ヲ以テ極メマスノデ、又ドシド
シ起スト云フモノデモゴザイマセヌ、ガ併ナガラ其區域ハ勅令ヲ極メヤウト思フノデゴザイ
マス、法律ニハ決シテ提出スル積リテゴザイマセヌ

○平田二郎君(三百四十九番) 勅令デ金額極メマスカ
○政府委員(松尾臣善君) 左様デゴザイマス、勅令ノ形ハドウ云フ形ニシテ出シマス
カ、未ダ極メテハゴザイマセヌガ、此放資致シマスル範圍ハ、勅令ヲ極メマスル積リテゴザイ
マス

○櫻井駿君(百五十一番) チョット質問ヲシタイデアリマス、此唯今問題ニナツテ居リ
マス公益事業ト云フコトデアリマスガ、既ニ法律ガ——斯ノ如キ案ガ出來タ以上ハ、勅
令ヲ御極メニナルノハ、凡ソドウ云フ類ノコトヲ御極メニナル見込カト云フコトハ、豫定ガ
付イテ居ラウト思ヒマスガ、外國ニ於ケル公益事業ト云フノハ、勅令ヲ例ヘバドウ云フコ
トヲ、御極メニナル御見込デアリマス

○政府委員(松尾臣善君) 其勅令ノコトハ、今チョット申上ケ兼ネマスデゴザイマスガ、
詰リ國家ノ公益ニナル——外國ニ於ケル國家ノ公益ニナル事業デ、資本ヲ需要スルモノ
ニ、此道ヲ以テ供給シヤウト申スノデゴザイマス

○櫻井駿君(百五十一番) ソレナラバ、勅令ノ公益事業ハ聞カテクテモ宜シイ、此第
十二條ノ一ト云フ中ニ「外國ニ於ケル公益事業ニ對シ」ト云フコトガアル、此外國ニ於ケ
ル公益事業ト云フモノハ、例ヘテ見レバ、ドウ云フモノヲ云フコトヲ、一ツ御答辯
ヲ願ヒタイ

○政府委員(松尾臣善君) ソレハ數々ゴザイマセウガ、其一、二ヲ申シマスレバ、或ハ鐵
道デゴザイマストカ、或ハ交通ノ便デアリマストカ云フヤウナ類デゴザイマス

○櫻井駿君(百五十一番) 鑛山ノヤウナモノモ這入りリマスカ
○政府委員(松尾臣善君) 鑛山ノヤウナモノモ這入ルカ知レマセヌガ、其邊ハ今確ト
申上兼ネマス

○櫻井駿君(百五十一番) サウ云フ範圍ニナルト、或ハ此結果日清銀行法律案ガ
昨年出マシタガ、彼ノ銀行デシヤウナ仕事モ、遂ニ此銀行ニスルヤウナ都合ニナルデアリ
マセウカ

○政府委員(松尾臣善君) 日清銀行ハ清國ニ於ケル事業ノ、モウ少シ立入ッタコトマ
デスル方法ニナツテ居リマスノデゴザイマス、是ハ全ク其公益ト云フ所ニ止マツテ居ルノデゴ
ザイマス

○櫻井駿君(百五十一番) アレトハ關係ガナイノデスカ
○政府委員(松尾臣善君) アレトハ關係ガゴザイマセヌ

○櫻井駿君(百五十一番) 今一ツ承リタイノハ、一番シマヒニ「大藏大臣ノ認可ヲ經
テ買入消却ヲ爲スコトヲ得」此債券ヲ買入消却ヲ爲サシメルト云フ必要ハ何處ニアリマ
スカ

○政府委員(松尾臣善君) 是ハ市場ノ景況ニ依テ抽籤消却ト云フモノガ、今日ノ社
債募集ノ上ニ於キマシテモ極メテ居リマスルケレドモ、市場ノ景況ニ依テハ、買入ノ方ヲ便
利トスルコトガアル、ソレハ此社債券ヲ持ッテ居ル人ガ、抽籤デゴザイマスルト、社債券ヲ今
持ッテ居ラウト云フ者マデモ、消却ヲ受ケル不便ガアル、又一方ニハ廢クテモ早く賣ッテ資
金ヲ欲シイト云フ人ガ出テ來ル、ソレ等ノ方モ抽籤デアリマスルト、ヤハリ消却ヲ受ケヌト
云フコトニナリマス、ソレヲ買上消却ノ方法、茲ニ與ヘテ置キマスレバ、資金ノ需要ヲ
スル處へ、買上ケテ消却ヲシヤレバ、僅カノ金ヲ其效能ガ大キクナリマス、ソレヲ此
方法ヲ許シテ置カウト云フコトナラデス

○櫻井駿君(百五十一番) 然ラバ買入消却ヲ望マヌ者ガ持ッテ居ル債券ガ、此タメニ
其價格ヲ減ゼラレルト云フヤウナコトデ、迷惑スルヤウナコトハナイ御見込デアリマスルカ
○政府委員(松尾臣善君) ソレハ決シテゴザイマセヌ、賣ルコトヲ好マヌ人ハ賣ラヌマデ
ノコトデアリマス、強制買入ノデアリマセヌ、廉クテモ買フテ費ヒタイト云フ人ガアレ
バ、買フテヤレバ其人ガ他ヘ持ッテ往ッテ買手ヲ探スヨリモ此銀行ニ持ッテ來テ、買入ヲシ
テ費フ方ガ利便デアリマス

○櫻井駿君(百五十一番) サウスレバ、此但書ハ詰マリ需要者ノ便利ヲ御計リニナツ
タノデ、銀行ノ便利ヲ主トシタノデアリマセヌカ

○政府委員(松尾臣善君) 是ハ兩方ノ便利ヲ計ッタノデス

○神崎東藏君(二百三十六番) 此第八條ノコトニ付イテ、政府委員ニ御尋ヲシマス
ガ、此御尋ヲスル前ニ、大體ニ付イテ議長ニ注文ガゴザイマス、成ルベク御宣告ヲ明瞭ニ
大キナ聲デ言ウテ戴キタイ、境ガ分ラヌ今ノヤウナ政府委員ト議員トノ間ニ、直接ニ應
對スルト云フコトモ、是モ止メテ費ハナケレバ困ル、ソレヲ私ノ問ヒテゴザイマスガ、但書ニ
「大藏大臣ノ認可ヲ得タルトキハ此限リニ在ラス」此但書ハ日本興業銀行法ヨリモ、先
キニ出來テ居ル所ノ日本興業銀行法ニ附イテ居ル、所ガ勸業銀行法ヲ作ル時分ニハ附
イテ居ル、サウシテ此興業銀行法ヲ作ル時分ニハ、ヤハリ勸業銀行ノ方杯ハ參照シテ研
究シタモノデアラウト思フ、研究シタ結果、興業銀行ヲ作ル所ノ人々ガ、但大藏大臣ノ認
可ヲ得タルトキハ此限リニ在ラス」ト云フ條文ハ要ラヌノデアリ、之ヲ附ケルト云フコト、却
此銀行ノ重役共ガ、専心ニ銀行ノ事ニ骨ヲ折ラナクナルトイカヌカラト云フノデ、削ッテ
ト云フコトヲ聞イテ居ル所ガ今日ニ至ラヌ、而モ臨時議會ニ提出シテ、但書ヲ附ケテケ
レバナラヌト云フ理由ハ何處ニアルカ、必要ハ何處ニアルカ、聞ク所ニ依レバ是ニハイロク

評判ガアル何カ此銀行ノ中ニ政府ニ御手柄ヲシタ人ガアツテ、其御褒美ニ何カ地位ヲ遣リタイ、併ナガラ此但書ヲ附ケナイト地位ガ遣レナイト云フノテ、急ニ但書ヲ加ヘタト云フ評判ガアル、嘘カモ知レマセヌガ、サウ云フ評判ガアル、サウ云フコトノタメニ之ヲ附ケタト云フコトニナルト、當初此法律ヲ作ツタ精神ヲ全ク消シテシマフ譯ニナル、ドウ云フ理由デ、急ニ此但書ヲ附ケナケレバナラヌ譯ニナツタカ、其理由ヲ承リタイ

○政府委員(松尾臣善君) 此但書ヲ附ケマシタノハ、是ハ急グ部分デハナイノデス、ケレドモ前申上ケマシタ通りニ急ギマスル部分ト云フノハ、即チ公益事業ニ資金ヲ供給スル點ガ急グノテ、其他ノ部分ハ本法ノ不備ヲ補フノテアルト云フコトヲ申上ケテ置キマシタ、ソレテ勸業銀行ノ方ハ、初メカラ此事ガ附イテ居リマス、其後ノ銀行ニハ拓殖銀行デモ、又ハ臺灣銀行デモ、是デモ此但書ハ附イテ居ラヌノデス、所ガアノ但書ガアリマセヌト云フト、公益事業ニモ立障ルコトガ出來ナイ、例ヘバ赤十字社ノ世話ヲシタクテモ是モ出來ナイ、貯蓄ノ世話ガシタイト思フテ是モ出來ナイ、何モ出來ナイト云フコトニナリマスカラ、今御話ノアリマシタヤウナ、他ノ會社ノ頭取ニナルトカ云フヤウナコトハ、害ガアリマセヌ、ソレハ大藏大臣ガ差支ガナイ、公益ニハ利便アルト云フモノニ許ス丈ノ途ヲ明ケテ置ク方ガ、一體ノ上ニ便利アラウ、殊ニ此興業銀行ノ部分ニ於キマシテハ、幾分カ公益ニ關係スルヤウナ點モ數々ゴザイマスカラ、サウ云フヤウナ處ニ途ヲ明ケテ置ク方ガ、利便アラウト云フ考デ、附ケマシタ譯デゴザイマス

○神崎東藏君(二百二十六番) 今ノ御答ニ依ルト、格別急ニ必要ガナイト云フ御話ガアリマシタガ、先刻ノ此鐵道敷設法ノ方デ、鐵道會議ヲ廢止スルト云フコトガ、此前議會ニ出テ居テ、今度ハ出テ居ラヌ、其間ニ對スル答ガ、ヤハリ急ニ要ラヌカラト云フ答デアツタ、所ガ此鐵道會議ヲ止メルト云フコトハ、有ルモノヲ止メルノデアリマスカラ、要ラヌモノヲ止メルノデアリマスカラ、是ハ急グカモ知レナイ、ソレヲ出サズニ置イテ、サウシテ之ヲ出ス、同ジ政府ノスルコトデ、餘程矛盾シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、誠ニ困ツタモノト云フヨリ外ニ仕方ガナイガ、ヤハリサウ云フ問ヲシテモ、今政府委員ノ御答ニナツタヨリ以上ノ御答ハ出來マセヌカ、若シ出來ナケレバ是デ止メテ置キマス

○政府委員(松尾臣善君) 鐵道法ノ方ハ私カラ申上ケ兼ネマスガ、此案ニ加ヘテアリマスル趣意ハ、今申上ケタ趣意デアリマス

○角田眞平君(二百一十一番) 松尾政府委員ニ御尋フ致シマスガ、今度ノ改正案ノ第九條第四號中「地方債證券社債券及株券ニ關スルヲ削ル」斯ウゴザイマス、ソレデ是迄ノ條例ヲ見ルト、之ヲ削ルト其下ニ殘ル文字ハ「信託ノ業」ト云フ、此四字丈ケガ殘ル、サウストト地方債云々ト云フコトガ削ラレテ、廣ク信託ノ業務ト云フコト丈ケガ殘リマスルト云フト、國債何カハ總テ信託ノ業務ノ中ニ這入ッテ仕事スルコトモ出來ルヤ否ヤ、而シテ今迄ハ其信託ノ業務ハ地方債ナレバ出來テ、國債ハ出來ナカッタアルカト云フコトヲ聞キタイ

○政府委員(松尾臣善君) 唯今御尋ノ此文ヲ削除致シマスルト、信託ト云フ字丈ケガ殘ル、其信託ト云フコトハ、廣ク致サセマスル積デゴザイマス、又一般ノ營業トシテハ、今日ノ所デハ公債ノ信託ト云フコトハ致シテ居リマセヌ

○角田眞平君(二百一十一番) ソレ故ニ地方債モ信託云々ト云フコトニ付イテ、御聽キシマデ、若シ之ヲ取ラナケレバ國債ハ賣ラレナイ、之ヲ取ラナクテモ國債ハ信託ヲ受クルコトヲ得ルノデアアルカ、ソレヲ聽キタイ

(政府委員松尾臣善君登壇) ○政府委員(松尾臣善君) 一般ノ營業トシテハ受ケルコトハ出來マセヌ

○角田眞平君(二百一十一番) 唯今ノ松尾政府委員ハ、豫算會ニ於テ斯様ニ言ウテ居ル、即チ五千萬圓ノ公債ノコトニ付イテ、興業銀行ト香港上海銀行ノ關係ニ付イテ、斯様ニ説明シテ居ルハ八月ニナリマシテ稍ノ話モ進行シテ可ナリト云フコトヲ認メマシタカラシテ信託トシテ興業銀行ハ五千萬圓ノ公債ヲ賣ラフ進行スルヤウニト云フコトヲ命ジテ内命シタノデアリマス、スルト此興業銀行條例ヲ讀ンテ見ルト疑ガ生ズル、五千萬圓ノ公債ヲ信託トシテ、興業銀行ニ命ジテ遣ラシタナラバ、改正スル必要ガナイ、地方債云云ト云フコトガ書イテアツテ之ヲ除カネバ、國債ヲ興業銀行ニ取扱ハセルコトガ出來ナイカラ改正スル必要ガアルト辯明シテ居ル、然ルニ此政府委員、政府モ人モ變ラズ、然ルニ豫算委員會ニ於テハ、信託トシテ五千萬圓ノ公債ヲ興業銀行ニ内命シテ取扱ハシタト云フ、サウスト改正スル必要ハゴザイマセヌカト云フニ拘ハラズ、今之ヲ改正ヲシナケレバナリマセヌカ、ソレトモ政府ハ豫算委員會ニ於テ、斯ノ如クニ政府ヲ代表シテ説明ヲセラレタガ、實ハ不法ノ所爲ヲ政府ガシタカラ、其事ヲ發見シテ臨時議會ニ慌テ、之ヲ出サヌト彌縫シ能ハヌト云フノテ、改正案ヲ出シタノデアアルカ、ドチラカニ、吾々ハハッキリ理解シテ居ラナイト、之ニ對シテ贊否ヲ決スルコトガ出來ナイ、一應説明ヲ請ヒマス

(政府委員松尾臣善君登壇) ○政府委員(松尾臣善君) 此條例ニゴザイマスル信託申スコトハ、即チ銀行ノ營業トシテスルノデアリマス、ソレカラ政府ガ命令シテサシタノハ其條例ニ依ツタノデアリマセヌ、即チ營業ハナナイノデアリマス、即チ信託ト云フ字ガ偶、同ジ字ニナツテ居リマスケレドモ其銀行ニ託シテ賣ラフサセタト云フノデアリマス

○角田眞平君(二百一十一番) サウスト、營業ハナナイ、條例ニ依ラズニ書イテナイコトハ、之ヲ政府流義ニ廣義ニ解釋シテ、何事ヲモ興業銀行ニサセ得ルト云フ、斯ウ云フ御存念ガ即チ今ノ政府ノ解釋ノ方デゴザイマス、之ヲ同ジテ置キタイ、サスレバモウ條例ヲ改正ナサラスニ、文字ニ書イテナイコトハ、ドシ、御遣リニナツテ宜カラウト思ヒマス、ドウデゴザイマスカ

(政府委員松尾臣善君登壇) ○政府委員(松尾臣善君) 今申上ケマシタ通、營業ト致シマスルコトハ、今日ノ條例デハ、今日ノ文章ノ通デゴザイマス、ソレカラ營業デナシニ政府ガ命令シテ遣ラシタモノ、即チ公債ヲ引受ケルト云フ條モアルシ、種々アルノデアリマスカラ、ソレデ政府ハ銀行ニ命令シテ遣ラシタノデアリマス

○角田眞平君(二百一十一番) 三百一十番ハ斯様ニ解釋シテ居ル、國家ガ法律ヲ規定シテ興業銀行法ナルモノヲ出シテ、之ニ由ッテ營業サセテ居ル、ソレ故ニ銀行ナルモノハ營業デアアル、然ルニ營業デナイモノハ五千萬圓ノ公債ヲ頼ムコトガ出來、左様ナ大ナル金デ失敗シテ國家ガ其損耗ヲ背負フコトガ出來ルカモ知レヌガ、營業ハ法律ノ下ニサセラレヌ、規則ヲ改正シナケレバ營業ハサセラレヌ、營業デナイ信託ハサセラレルト解スル、然ルニ今ノ解釋デハ、是ハ營業デナイカラ、營業デナイカラサセルト云フト、甚ダ了解ニ苦ム、吾々ハ文字ニ書イテナイ範圍ニ於テ營業ハナシ得ルト思フ、若シ私ニ適當ナル説明ヲ與ヘヤウトスレバ、ソレハ斯ウ云フ文字ノ中ニ含マレテ居ルカラ、其範圍ニ於テ信託ト云フ文字ヲ使ツタガ、ソレハ間違デ信託ハナクテ興業銀行ニ賣ツテ、興業銀行ガ香港上海銀行ヘ賣ツタト云ヘバ、嘘ナガラモ條例ニハ抵觸シナイ、併ナガラソレハイカヌ、五千萬圓ニ公債ヲ買フ資本ガ無イカラ、ソレハ出來ナイケレドモ、出來ルトスレバ筋ハ立ツガ、今ノ番外ノ説明デ云ヘバ、營業デナイカラ信託ガ出來ヌト云ヘバ、滿堂ノ諸君一人モ理解ハ出來ヌト思フ、其邊ヲハッキリ區別シテ、御説明ヲ請ヒタイ

○角田眞平君(二百一十一番) 三百一十番ハ斯様ニ解釋シテ居ル、國家ガ法律ヲ規定シテ興業銀行法ナルモノヲ出シテ、之ニ由ッテ營業サセテ居ル、ソレ故ニ銀行ナルモノハ營業デアアル、然ルニ營業デナイモノハ五千萬圓ノ公債ヲ頼ムコトガ出來、左様ナ大ナル金デ失敗シテ國家ガ其損耗ヲ背負フコトガ出來ルカモ知レヌガ、營業ハ法律ノ下ニサセラレヌ、規則ヲ改正シナケレバ營業ハサセラレヌ、營業デナイ信託ハサセラレルト解スル、然ルニ今ノ解釋デハ、是ハ營業デナイカラ、營業デナイカラサセルト云フト、甚ダ了解ニ苦ム、吾々ハ文字ニ書イテナイ範圍ニ於テ營業ハナシ得ルト思フ、若シ私ニ適當ナル説明ヲ與ヘヤウトスレバ、ソレハ斯ウ云フ文字ノ中ニ含マレテ居ルカラ、其範圍ニ於テ信託ト云フ文字ヲ使ツタガ、ソレハ間違デ信託ハナクテ興業銀行ニ賣ツテ、興業銀行ガ香港上海銀行ヘ賣ツタト云ヘバ、嘘ナガラモ條例ニハ抵觸シナイ、併ナガラソレハイカヌ、五千萬圓ニ公債ヲ買フ資本ガ無イカラ、ソレハ出來ナイケレドモ、出來ルトスレバ筋ハ立ツガ、今ノ番外ノ説明デ云ヘバ、營業デナイカラ信託ガ出來ヌト云ヘバ、滿堂ノ諸君一人モ理解ハ出來ヌト思フ、其邊ヲハッキリ區別シテ、御説明ヲ請ヒタイ

〔政府委員松尾臣善君登壇〕

○政府委員(松尾臣善君) 其事ハ屢々申上ケル通ニ、信託ト云フ條ニ依ッテノハナ
イ、ソレハ興業銀行ハ公債ノ引受モ出來ルシ、取扱モ出來ル條ガ書イテアルノデ、信託
ト云フ字ガ偶々此條ト合ウタモデアリマスカラ、サウ云フ御疑ガ起ツタト思ヒマス、ソレデ
政府ガ命令ヲシテテ、營業トシテシタノデアナイト云フコトヲ申上ケル外ハアリマセヌ

○副議長(杉田定一君) 他ニ御質問モゴザイマセヌヤウデゴザイマス、議事日程ノ第
十六ニ移リマス

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(八十二番) 是ハ十八名ノ委員ヲ選ンデ審査スルコトニシタイ
〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○副議長(杉田定一君) 十八名ノ委員ヲ議長ガ指名スルコト云フ 恆松君ノ動議ニ御
異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(杉田定一君) 御異議ガナケレバ其通り決シ、議事日程ノ第十七ニ移リマ
ス、朗讀ハ省略致シマス

第十七 明治三十六年勅令第八號(承諾ヲ求ムル件) (政府提出)

勅令第八號 第一條 災害又ハ天候ノ不順ニ因リ府縣ノ全部若ハ一部ニ互リ田畑ノ收穫
皆無ニ歸シタル場合ニ於テ其ノ地租ヲ納ムヘキ者ニシテ所轄稅務署ニ於
テ納稅ノ資力ナシト認メタルトキハ本令ニ依リ三年以内ノ期間ヲ以テ年
賦延納ヲ許可スルコトヲ得

第二條 前條ニ依リ延納ノ許可ヲ得ムトスル者ハ被害現狀ノ存スル間ニ於
テ前條ニ該當スルコトヲ證明シ所轄稅務署ニ出願スヘシ

第三條 本令ニ依ル被害調査中ハ地租ノ徵收ヲ猶豫ス

附則

第四條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五條 本令ノ規定ハ第二條ヲ除ク外之ヲ明治三十五年分地租ニ準用ス
前項ニ依リ延納ノ許可ヲ得ムトスル者ハ本令施行後三十日以内ニ第一條
ニ該當スルコトヲ證明シ所轄稅務署ニ出願スヘシ

〔政府委員阪谷芳郎君登壇〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今ノ日程ニ上リマシテ勅令第八號デゴザイマスガ、是ハ
諸君御承知ノ通、昨年ノ議會ニ法律案トシテ提出ニナリマシタノデアリマスガ、議會解
散ノタメニ法律ガ成立ニナリマセヌ、然ルニ青森縣下其他ノ凶作ニ罹リマシタ所ノ狀況
ト申シマスルモノハ、甚ダ處分上緊急ト認ムルガタメニ、憲法ノ明文ニ據リマシテ、緊急勅
令トシテ發布ニナリマシテ、即チ本日茲ニ承諾ヲ求ムル次第デゴザイマス、ソレデ此何故ニ
此勅令ニ延納ト云フ、免除ト云フイカト云フ議論モ往々聞ク所デゴザイマスガ、是ハ地租
條例中ノ明文ニアリマス通、ソレ故ニ此天候ノ不順ト云フモノハ、此凶年ト云フコトニ
當リマスガ故ニ、此地租條例ノ根本ノ議論ヲ崩ス譯ニイカナイ、若シ此地租條例ノ根本
ノ議論ヲ崩セバ、檢見取ト云フコトニナル、檢見取ト云フコトニナル、米納ト云フコトヲ

再興シナケレバナラヌ、物品收得ト云フコトニモナリマスカラ、ソレ故ニ天候ノ不順即チ凶
年ニ依ッテモハ、延納ノ外ニナイト認メマシテ、昨年提出致シマシタ通ニ、勅令ヲ發布シ
タノデアリマス、其他ノ蝗害トカ、電害トカ云フヤウナ事ニ付キマシテ、曾ア衆議院ノ議
ニモ上ツテ、貴族院(回付ニナリマシタコトデアリマスガ、貴族院ニ於キマシテハ、斯ノ如
キモノハ收穫保險法ト相俟ツテ、始メテ法律トシテ成立スベキモノデアアデ、永久ニ斯ノ如
キモノヲ法律ニ定ムベキモノデアナイ、斯ウ云フ議論デゴザイマシタ故ニ、政府ニ於キマシテハ天
候不順其他種々ノ災害ニ依ッテ生ジマシタ所ノモノヲ、免租ト云フコトニハ致サヌ、詰リ
延納ト云フコトニ止メルト云フコトニ決定致シマシタ、唯此水害ト申シマスルコトハ、地
租條例中ノ一ツノ不備デアリマス、荒地ノ場合ト同ジヤウニ思ヒマスルデ、ソレヲ先年ノ
法律デ以テ免租スルコト云フコトニナッテ居リマスガ、此凶年トカ其他ノ災害ニ就キマシテ
ハ、延納ト云フコトノ主義ヲ貫キマスル考デアリマス、是ハ速ニ御承諾ヲ與ヘラレシコト
ヲ、希望致シテ置キマス

○工藤行幹君(二百五十九番) 唯今ノ問題ハ、此次ノ第十九ト關聯シテ居ルモノデ
ゴザイマスカラ、本員等ノ提出シテアル議案ニ就イテ、此際ノ本員ハ其趣意ヲ述ベテ、併
セテ委員ニ付託致シタイト思ヒマス、御許シナラバ

○副議長(杉田定一君) 別段御質疑ハナイヤウデス、十八ノ日程ニ移リマス

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(八十二番) 是ハ九名ノ委員ヲ指名セラレシコトヲ望ミマス、次ノ日程
ハ提出者カラ一括シテ、此際演說ヲ省略スルコト云フコトナラバ、直チニ唯今ノ委員ニ付
託ニナラシコトヲ望ミマス

○工藤行幹君(二百五十九番) 是ハ唯今ノ政府委員ノ何モアリ、是非一應ノ演說
ヲ致シタイト思ヒマス

○副議長(杉田定一君) 第十八ハ九名ノ委員ヲ、議長ガ指名スルコト云フ 恆松君ノ
御意見通、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(杉田定一君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス、日程第十九ニ移リマス、
朗讀ヲ省略致シマス、工藤行幹君

第十九 災害地租免除ニ關スル法律案(木村半兵衛 第一讀會)

右成規ニ據リ提出候也
明治三十六年五月十二日

提出者 木村 半兵衛 中島 祐八 大津 淳一郎
河野 廣中 田村 惟昌 工藤 行幹
村松 龜一郎 國井 庫 高橋 金治
齋藤 宇一郎
一府縣又ハ數府縣ノ全部若ハ一部ニ互レル風害、霜害、電害、蟲害、旱害又ハ
氣候ノ不其等ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ其ノ年分ニ限リ之ヲ
免除ス
前項ニ依リ免租ノ處分ヲ受ケムトスル者ハ罹災後三十日以内ニ主務官廳ニ
申出ツヘシ此ノ期間内ニ申出テサル者ハ免租ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス
本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セヌ

附則

本法ノ規定ハ之ヲ本法施行前一年間ニ災害ヲ被リタル田畑ニ準用ス但シ申出期間ハ本法施行ノ日ヨリ三十日以内トス

(工藤行幹君登壇)

○工藤行幹君(二百五十九番) 私ハ本案ノ提出者ニ代テ、極ク簡單ニ此理由ヲ諸君ニ御話致シマシテ、御贊成ヲ請フノデアリマス、倍此案ト云フモノハ、昨年モ此議會ニ出シマシテ、ソコテ委員ニ付託ニナリテ居タトキニ、議會ガ解散ニナリマシタメニ、孰レニモ決シ兼ネタノデゴザイマス、故ニ大抵昨年居タ御方ハ皆御存ジテゴザイマセウケドモ、マダ新ラシイ御方モゴザイマセウカラ、私ガチヨト御話ヲ致シマス、本案ハ即チ災害地ニ關スル地租ノ免除ノ法案デゴザイマシテ、之ヲ再言スレバ、或ハ早損或ハ氣候不順ノタメニ地租ノ皆無ニナリ、若クハ蟲害其他總テ此人事ヲ救フベカラサルノ災害ニ遭ウテ、其收穫ガ皆無ニナリマシタトキニ、之ヲ免除スルト云フ法案デゴザイマス、此案ヲ出シマシタノハ、即チ地租條例ノ不備ヲ補ヒマシテ、一般ニ稅ノ公平ヲ保チタト思フノデゴザイマス、何故地租條例ノ不備ヲ補フカト申シマスナラバ、凡ソ稅ト云フモノハ、其賦課シタ物件ガ無クナルカ、或ハ多數減少スルト云フト、其稅ヲ減少ルカ免除スルカト云フコトハ、當然ノ事デアラウト思フノデゴザイマス、然ルニ地租條例ト云フモノハドウデアアルカト云ヘバ、年ノ豐凶ニ依テ地租ヲ動かサヌト云フコトニナリテ居リマシラカ、如何ニ土地ガ災害ニ罹ラテ收穫ガナクナリテモ、此程ハ取立テ居ルニテモ、苛酷ナモノニナリテ居ルノデアアル、試ニ今他ノモノヲ云テ見ルナラバ、營業稅ノ如キハ如何デゴザイマスカ、營業稅法ノ其條項ノ中ニ、或ハ營業金高ガ半額ニナルト云、或ハ營業者ガ半分ニタツトキニハ、ソレヲ減少スルト云フコトガアリマス、又酒ノ稅ニ、醬油ノ稅ノ如キハ如何デゴザイマスカ、ニ之ヲ減少スルト云フコトガアリマス、而シテ當局者ガ之ヲ詮議シテ、相當ノ其條項中ニハ一旦大藏省ヘ届ケテ、何十何石造リマスト云テ検査ヲ受ケテモ、若シ其酒又ハ醬油ガ地價ノタメニ無クナリテシマフトカ、或ハ腐敗シテシマタトキニハ其理由ヲ申立テトキハヤハリ其稅ガ免除ニナルノデゴザイマス、而シテ前申シタ一ツノモノハ、或ハ諸君ノ中ニ是ハ間稅デアアルカラサウデアアルケレドモ、直接稅ナラバ一旦定メタ稅ハ、變換シナイト云フ御説ガアルカ知レマセウケレドモ、然ラバ私ガ直接稅ナル、即チ所得稅ノ條項ニ依テ之ヲ論シヤウト思フ、所得稅ノ條項中ニモ此所得稅ハ前ニテヤント届ケテ置イテ、幾方圓幾千圓ト云フコトヲ届ケテ置キマシテモ、其四分ノ一以上減ジタトキニハ、ヤハリ同様申立テ、之ヲ減少セシムルコトガ出來ルノデアアル、斯ノ如ク間稅並ニ直接稅ハ其賦課シタ所ノ物件ノ減シタトキニハ、其稅ヲ減スルト云フコトガアルノニ、獨リ地租ニ限リテイクラノ災害ニ遭フテモ、之ヲ免除スルコトガ出來ヌト云フノハ、蓋シ不當ノ甚シキモノト云ハナケレバナラス、是ハ畢竟此地租條例ト云フモノガ、明治六年乃至七年ノ間ニ起リタモノデゴザイマシテ、人文モ開ケズ、稅法ノ何物タルヲ知ラナイ、又政府ノ御役人ガサウ云フ道理ノ明カナコトヲ知ラナイトキニ、是ハ指ヘタモノデアアルカラ、斯ノ如ク年ノ豐凶ニ拘ラズ、之ヲ取ルコトヲ知ラナイト云フコトニナリマシテ、然ラバ到底是ハ地租條例ヲ其儘ニ拾遺クコトガ出來ナイ、唯今政府委員ハ地租條例ヲ改メルト云フト、之ガタメニ巨多ノ障害ガ起ルカラ、之ヲ延納ニシマシタト云フコトヲ言ハレケレドモ、是ハ以テノ外ノコトデアアル、何トナレバ其後地租ニ付テハドウナリマシタカ、水害ノタメニ明治二十一年ノ地租ハ、ヤハリ其年ノ地租ヲ免除スルト云フコトハ法律ニ出テ居ルデハゴザイマセウケ、又明治二十二年乃至、又法律ヲ以テ明治二十二年ノ地租ヲ免除スルト云フコトガ出テ居ル、地租條例コトヲ改正ニナラヌケレドモ、續々斯ノ如ク一方ニハ水害ニ遭フタメニ

其地租ヲ免除スルコトハ、明カニ法令ヲテ居ル、地是ニモ尙満足セズシテ、進シテ三十四年乃至、ドウ云フコトヲシマシタカ、是迄ハ例ヘバ三十二年分ノ地租ヲ免除スル、三十三年分ノ地租ヲ免除スルト云フノニモ拘ハラズ、之ヲ一ツ踏越ヘテ其年ノ地租ヲ免除スルト云フコトヲ、明治三十四年ノ法律第二十七號ヲ以テ明カニヤツタデアアル、シテ見レバ地租條例二年ノ豐凶ニ拘ハラズ、稅ヲ取ルト云テモ、水害ノ一ツタケハ全クツレ破ツシマツテ、此水害ニ罹リテ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ、其年分ニ限りテ之ヲ免除スルト云フ法律ガアル以上ハ、チヤント之ヲ免除スルコトヲ云フコトハ明カニアル、是ハ誠ニ結構ヲ當然ナコトデアアル、然ルニ獨リ水害ニ罹ラタモノノミヲ以テ免除スルシ、他ノ早損或ハ蟲害或ハ霜害ニ罹ラタモノハ、之ヲ免除シナイト云フモノハ、抑、何等ノ故デアアルカ、一向其理ノアル所ガ分ラヌノデゴザイマス、若シ水害デ地租ノ變換シタラバ、之ハ荒地ノ處分法ニ依ルカラ別物デアアル、水ノタメデアアラウガ、早損ノタメデアアラウガ、況ン當年ノ東北ノ如キ、不氣候ノタメニ皆無ニナラヌモノ、何ゾ之ガ輕重ガゴザイマセウケ、若シ之ガ人事ノ不行届ノタメニ皆無ニナラヌモノト云フタナラバ、或ハ其農民ヲ叱責スル、之ヲ譴責スルガタメニ免除シナイト云フコトモアルカモ知レマセウケレドモ、當年ノ氣候ノ如キモノニナリテハ、ドウシテモ天氣ガ惡クテ溫度ガ低イタメニ、稻ノ實ラヌノデアリマス、連モ人事ノ適ラフモノデハナイノデゴザイマス、然ルニソレ等ノ如キハ一向之ヲ免除スルコトヲセズシテ、即チ此政府ハ勅令第八號ヲ以テ唯之ヲ延納セシムル、三箇年間延納セシムルト云フコトヲ、法律ニ出シタデアアル、是ガ誠ニ不當ナコトデアアルノデゴザイマス、若シ此地租ノ論法ヲ以テ言ヒマシタラバ、營業稅ノ如キ、所得稅ノ如キ、酒ノ稅ノ如キモ、一度極メタ以上ハ、最早トシテ腐敗シテモ、ドシテ減少シテモ、稅ハ一厘一毛モ引クコトハ出來ヌト云フコトニナラヌナラバ、ドウデゴザイマセウ、實ニ納稅者ノ困難ト云フモノハ、言フベカラザルモノデアラウト思ヒマス、而シテ尙此勅令中、最モ不當ナリト認ムル所ガ、此第一條ニ田畑ノ收穫皆無ニ歸シタル場合ニ於テ、其地租ヲ納ムベキモノニシテ、所轄稅務署ニ於テ納稅ノ實力ナシト認ムルトキハ、本令ニ依リ三箇年以内ノ期間ヲ以テ、年賦延納ヲ許可スルコトヲ得ルト云フ、ソコテ地租ガ全ク皆無ニナリテシマツテ、是ハ万人ノ視テ万人皆無ト云フコトヲ思ヒナガラモ、尙其人ニシテ他ニ餘力ガアル時ニハ、之ハ免除シナイト、斯ウナツテ居ル、彼ノ苛酷ナル收稅吏等ガ續々此延納願ヲ出シテモ、貴様ハマダ他ニ澤山餘力ガアルデヤナイカト云フヤウナ言葉ヲ以テ、ドシノク排斥スルノデゴザイマス、斯ノ如キ論法ヲ以テ言フナラバ、營業者ガ幾ラソレレハ營業稅ガ減ツテモ、從業者ガ減ツテモ、又ハ酒醬油ノ製造家ガソレガ減ツテモ、他ニ公債證書ヲ持テ居ルトカ、他ニ資力アレバ、其稅ヲ緩ウスルコトガ出來ナイツト云フト、同ジ道理デアラウト思フノデゴザイマス、豈斯ノ如キ理由ト云フモノハアルマイト思ヒマス、然ルニ此當年ノ私ガ今東北地方ノタメデアラヌク、總テ蟲害早損地變其他天災ノタメニ、地租ノ收穫ノ皆無ニナリマシタモノハ、總テ免除シタイト云フ法律デゴザイマセウケレドモ、私ハ東北ノ人間テ、久シク東北ノ當年ノ實況ヲ見テ居ルカラ、聊御話ヲ致シマス、當年ノ東北ノ實況ト云フモノハ、實ニ言フニ忍ビザル災害ニナツテ、恐多クモ、天皇陛下カラモ、若干ノ御救助金ヲ賜ハツテ居ル、又内外國ノ志士仁人ヨリモ、多クノ救助金ヲ惠與セラレテアル所デアアル、吾々東北人トシテ深ク感謝スル所デアリマス、隨分此金高モ少ナカラヌトテ、我青森縣ハカリテモ、既ニ此惠與金ニ預ツタモノト云フモノハ、七万余圓ノ多キニ至ツテ居ルノデゴザイマセウケ、之ヲ災害地ノ地方ノ總額ヲ言フテ見タナラバ、隨分夥シイモノデアラウト思フ、而シテ今回ノ災害コトヲ云ウテ見タナラバ、皆無ニ歸シタル田畑ハ、ドレダケカト云ウナラバ、福島縣ニ於テハ一万六千町步餘ノ、皆無ニ屬シテ居ルノデアアル、我青森縣ノ如キハ段別ノ所ガ能ク分リマセ

ヌケレドモ、平年作ノ四分二厘餘ノ作テアル、故ニ其減額ト云フモノハ、殆ド四十二一万八千石程ノ、平年ニ比シテハ減少ニナリテ居ルノデゴザリマス、斯ノ如ク困難シテ居ル者ニ對シテ、收稅吏等ガ、ドウモ汝ガ縦令田畑ハ皆無テモ、他ニ餘力ガアルカラ、此稅ヲ納メヨト言ウテ、ドシノ公賣處分ヲ行ウト云フモノハ、實ニ政府トシテ爲スベカラザル所、又慘酷ノ至リテハアリマセヌカ、唯今私ハ此演壇ニ登ラントシテ、其時ニ一ノ郵便書ガ達シマシタ、ツレバ披イテ見タ所ガ、青森縣ノ東津輕郡ノ或村長カラ、實ニ難儀テ困ルカラシテ、此事情ヲ言ウテ呉レト云フコトヲ、唯今ソコテテコト披イテ、今其一ノヲ見マシテモ、收稅吏カラ達スルニハ、延納ノ願ヲヤツタ所ガ、斯ウ云フ調ヲ得タ人員ハ何程アルカ、他ノ所持金ハ何程アルカ、船舶ヲ持ッテ居ルカ居ラヌカ、牛馬ヲ持ッテ居ルカ居ラヌカ、十五以上ノ者ニシテ病人ガアルカナイカト云フコトヲ詮議シニ來ル、ソコテ若シ船舶ガアルトカ、牛馬ガアルトカ言ヘバ、又病人モ無イト言ヘバ、汝ハ縦令地租ガ皆無ニテ、船ヲ以テ海ニ漁セヨ、決シテ地租延納ハ出來ヌト云フテ、之ヲ却下スルノデゴザリマス、實ニ不當極マツタコトアルノデゴザリマス、故ニ私ガ本案ヲ提出シテ、總テ此度ノ與羽地方ニ拘ラズ、滿天下ノ此災害ニ罹ラタ者テ、其地租ノ一少シバカリ惡ルク出來タノハ已ムヲ得ナイ、地稅條例モアルカラシテ、全ク收稅ノ皆無ニナツタモノハ、ヤハリ水害ニ罹ラデ皆無ニナツタモノト同様ニ、之ヲ其年ノ地租ヲ免除シタイト云フ法律案ヲ提出シタ所以デアリマス、故ニ願クハ此前ノ三十二年ノ勅令第八號ノ、此案ト同一委員ニ付託シ、又モウ一ツ今日見レバ外ニ政友會ノ諸君ノ内カラモ、吾々ノ出シタ案ト同様ナ案ヲ、出サレテアルノデゴザリマス、此三ツヲ同一委員ニ付託シ、此三十二年ノ勅令第八號ノ不當ナル理由、吾々ノ案ノ正當ナル理由ヲ詳カニ御調査ニナツテ、ドウゾ議會ニ報告セラレコトヲ、偏ニ希望スルモノデゴザリマス簡單ニ……

○恆松隆慶君(八十二番) 此案ハ唯今工藤君カラ、前ノ委員ト云フコトデゴザリマスガ、私モ全體サウ云フ意嚮デゴザリマス、確ト熟考致シマス、是ハ更ニ九名ノ委員ニ付託シタ方ガ宜カラウト考ヘマス、相成ルベクナラバ、此委員ハ、更ニ九名ノ特別委員ヲ選バレンコトヲ希望致シマス

○副議長(杉田定一君) 恆松君ノ御意見通、更ニ本案ヲ九名ノ特別委員ニ付託スルト云フコトニ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ 呼フ者アリ)

○副議長(杉田定一君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス、先刻鈴置君ノ豫算委員ノ補選選舉ヲ第七部ト申上ゲマシタガ、是ハ第五部ノ誤リデゴザリマス、尙御諮リ申スコトガアリマスガ、寺井純司君カラ、病氣ノタメ決算委員ヲ辭任致シタイト云フ辭任書ガ出テ居リマス、是ハ許シテ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ 呼フ者アリ)

○副議長(杉田定一君) 御異議ガアリマセヌカ、許スコトニ致シマス、就イテハ是モヤハリ本日散會後第二部ニ於テ決算委員補選選舉アラント希望致シマス、是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

板倉中君ヨリ對露國事件ニ關シ、山根正次君ヨリ慢性及急性傳染病豫防ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

委員ヲ指定スルコト左ノ如シ

- 地租條例中改正法律案外一件
- 大岡 育造君
 - 恆松 隆慶君
 - 菅原 傳君
 - 改野 耕三君
 - 征矢野 半彌君
 - 竹越 與三郎君

- | | | |
|--------------------|---------|---------|
| 田村順之助君 | 渡邊 修君 | 田中祐四郎君 |
| 鈴置倉次郎君 | 東條 良平君 | 永島龜代司君 |
| 宮崎 榮治君 | 堀家 虎造君 | 松本與右衛門君 |
| 河村 喜助君 | 井上 敬之助君 | 田中喜太郎君 |
| 武富 時敏君 | 西村 眞太郎君 | 沼田 宇源太君 |
| 齋藤 良輔君 | 堀越 寛介君 | 望月 長夫君 |
| 大津 淳一郎君 | 鈴木 久次郎君 | 坂口 仁一郎君 |
| 安達 謙藏君 | 林 小 參君 | 三井 忠藏君 |
| 板倉 中君 | 藻寄 鐵五郎君 | 島田 三郎君 |
| 宮古 啓三郎君 | 田口 卯吉君 | 大久保弁太郎君 |
| 軍艦水雷艇補充基金組入ニ關スル法律案 | | |
| 志賀 重昂君 | 望月 小太郎君 | 森本 莊三郎君 |
| 井上 八重吉君 | 内藤 守三君 | 横澤 本衛君 |
| 大久保 鐵作君 | 淺野 順平君 | 森 秀 次君 |
| 加藤 政之助君 | 東尾 平太郎君 | 青地 雄太郎君 |
| 神崎 東藏君 | 宮村 三多君 | 木本 源吉君 |
| 大河内 輝剛君 | 高野 源之助君 | 奥田 義 人君 |
| 鐵道敷設法中改正法律案外一件 | | |
| 元 田 肇君 | 望月 右内君 | 村野常右衛門君 |
| 村松 愛藏君 | 井手 毛三君 | 宮崎 鏞三郎君 |
| 田中 定吉君 | 稻田 藤治郎君 | 上村 精之助君 |
| 内藤 利八君 | 菊池 武徳君 | 森田 勇次郎君 |
| 降旗 元太郎君 | 町田 猛郎君 | 佐竹 作太郎君 |
| 大野 久次君 | 久米 民之助君 | 井上 角五郎君 |
| 度量衡法中改正法律案 | | |
| 酒井 岩造君 | 齋藤 和平太君 | 景山甚右衛門君 |
| 牧野 逸馬君 | 古川 黄一君 | 淺見 竹太郎君 |
| 松村 時次君 | 吉田 顯三君 | 大久保 不二君 |
| 臺灣事業公債法中改正法律案 | | |
| 漆 昌 巖君 | 遠藤 庸治君 | 串本 康三君 |
| 平田 二郎君 | 安田 勳君 | 福井 三郎君 |
| 久須美秀三郎君 | 水登 勇太郎君 | 佐藤 里治君 |
| 日本興業銀行法中改正法律案 | | |
| 小河 源一君 | 栗原 宣太郎君 | 中倉 万次郎君 |
| 丹後 直平君 | 秋岡 義一君 | 川原 茂輔君 |
| 望月 圭介君 | 宮井 茂九郎君 | 加藤 高明君 |
| 鹿島 秀磨君 | 堤 猷 久君 | 須見 千次郎君 |
| 森田 卓爾君 | 鈴木 長藏君 | 大野 龜三郎君 |

鈴木 總兵衛君

兼 松

櫻君

岩谷 松平君

對露國事件ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十六年五月十六日

提出者 板倉 中

贊成者 大澤庄之助

質問趣意書

近日傳フル所ニ依レハ露國ハ滿州撤兵ノ約ヲ履マズ反テ專ラ兵備ヲ盛ニスルヲ務メ加フルニ朝鮮國ノ境域ニ迄モ兵ヲ進メ妄リニ森林ヲ伐採シテ民人ヲ虐グルノ實アリト果シテ事實ナリヤ

我が政府ガ之レニ對スル決心如何

右ハ事情ノ容ス限リニ於テ其ノ真相ヲ明ニセラレンコトヲ望ム

理由

近日東洋ノ風雲穩カナラズ新聞紙ノ傳フル所モ亦一樣ナラズ國民ハ諸種ノ風説ニ迷ハサレテ安ンゼサル者アリ隨テ商工業ニ迄其ノ影響ヲ及ボサシムルヲ得ズ此ノ如キ場合ニ於テハ政府ハ其ノ外交上ノ妨々ヲザル限リニ於テ之ヲ明ニシテ國民ヲシテ其ノ向ヲ所ヲ知ラシムルノ責アリ然レニ我が政府ハ嘗テ此レ等ノ點ニ就テ說明ヲ爲シタル事アルナシ是レ此ノ質問ヲ提出スル所以ナリ

慢性及急性傳染病豫防ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十六年五月十六日

提出者 山根 正次

贊成者 角田 眞平

外三十三名

慢性及急性傳染病豫防ニ關スル質問書

一 肺結核

本病ノ蔓延ハ現時猖獗ノ勢ヲ示スニ係ラズ政府ハ何等ノ豫防措置ヲ爲ササルハ如何

一 癩病

本病ハ近時其蔓延劇シク世界第一ノ統計ヲ示スニ係ラズ政府ニ何等ノ畫策ナキハ如何

一 花柳病

本病ハ其ノ蔓延殆ト極點ニ達シ人種ノ衰頽延テ亡國ノ兆アリ然ルニ政府ハ僅ニ行政執行法ノミニ依リ之ガ豫防ノ目的ヲ達セントスルハ甚ダ緩慢ノ感アリ如何

一 トフホーム

本病流行ノ結果ハ壯丁検査統計ニ於テ著シク其恐ルベキ現象ヲ見ル然ルニ政府ハ僅ニ學校衛生ニ於テ之ガ防遏ノ方法ヲ設ケ居ルノミ如何

一 ベスト

ベストノ豫防ニ就テハ傳染病豫防法アリト雖立法ノ當時ト今日トハ其ノ狀況ヲ異ニシ甚ダ不完全ノ點多シ政府ノ意向如何

一 虎列刺豫防注射液ニ就テ

政府ハ虎列刺豫防注射液ヲ勵行セリ其ノ施行後ノ成績如何

○副議長(杉田定一君) 日程第十七以下ノ委員ノ氏名ハ、追テ公報ヲ以テ御報告致シマス、目下ノ所ハ議事ニ附スベキ所ノ議案ガゴザイマセメテ、議事日程及次ノ開會日ハ、追テ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、今日ハ是テ散會致シマス
午後三時十六分散會